

平成21年県民意識調査結果の概要

平成21年6月

宮 城 県

目 次

調査の趣旨・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・概-1

調査の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・概-1

調査結果の概要

1 「宮城の将来ビジョン」：政策推進の基本方向に関する調査結果・・・・・・・・概-2

（1）富県宮城の実現 ～ 県内総生産10兆円への挑戦～ （取組1～12）・・・・概-2

（2）安心と活力に満ちた地域社会づくり （取組13～26）・・・・概-5

（3）人と自然が調和した美しく安全な県土づくり （取組27～33）・・・・概-8

（4）各取組における特に優先すべきと思う項目調査結果 （取組1～33）・・・・概-11

2 特定項目（テーマ）調査結果・・・・・・・・・・・・・・・・概-19

参考資料

1 回答者属性一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・概-23

2 重視度集計表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・概-24

3 満足度集計表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・概-25

調査の趣旨

当調査は、行政活動の評価に関する条例(平成13年宮城県条例第70号)第7条第1項及び第2項の規定に基づいて実施し、その結果を取りまとめ、公表するものです。

調査の概要

1 調査目的

「宮城の将来ビジョン」に定める33の取組について、県民がどの程度重視しているか、満足しているか、また特にどのようなことを優先的に取り組むべきと考えているかなどを調査し、県の政策評価・施策評価や企画立案に活用します。

2 調査対象

宮城県に居住する20歳以上の男女 4,000人(選挙人名簿から無作為抽出)

3 調査方法

郵送方式

4 調査期間

平成21年3月3日(火)から平成21年3月23日(月)まで

5 調査項目

「宮城の将来ビジョン」に定める33の取組に関する5項目(認知度、関心度、重視度、満足度及び特に優先すべきと思う項目)

特定項目(「宮城の食」、「宮城の治安」、「暮らしと環境」、「景観の保全・形成」)

回答者属性及び調査方法等に関する項目

6 回収結果

回収数 1,944通

回収率 48.60%

7 調査結果の見方

比率は百分率で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。このため、百分率の計が100%にならないことがあります。

本調査は無作為抽出調査であるため、調査結果を見る際には、母集団から標本(調査対象)を抽出することによって生じる「標本誤差(母集団全体を調査した場合に得られる真の値との差)」を考慮する必要があります。

今回の調査結果の標本誤差は、約±2%と見ることができます。

(例: 今回の調査結果において、設問中の選択肢の「重要」の回答比率が60%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は約±2%以内(真の値が58.0~62.0%以内にある)と見ることができます。)



調査結果の概要

今回の本調査における結果は次のとおりです。

1 「宮城の将来ビジョン」：政策推進の基本方向に関する調査結果

「宮城の将来ビジョン」で定めている政策推進の3つの基本方向を構成する33の取組ごとに「重視度」及び「満足度」を調査したところ、次のような結果となりました。

(1) 富県宮城の実現 ～ 県内総生産 10 兆円への挑戦 ～

政策推進の基本方向・課題		取組	
富県宮城の実現 県内総生産10兆円への挑戦	育成・誘致による県内製造業の集積促進	取組 1	地域経済を力強くけん引するものづくり産業（製造業）の振興
		取組 2	産学官の連携による高度技術産業の集積促進
		取組 3	豊かな農林水産資源と結びついた食品製造業の振興
	観光資源、知的資産を活用した商業・サービス産業の強化	取組 4	高付加価値型サービス産業・情報産業及び地域商業の振興
		取組 5	地域が潤う、訪れてよしの観光王国みやぎの実現
	地域経済を支える農林水産業の競争力強化	取組 6	競争力ある農林水産業への転換
		取組 7	地産地消や食育を通じた需要の創出と食の安全安心の確保
	アジアに開かれた広域経済圏の形成	取組 8	県内企業のグローバルビジネスの推進と外資系企業の立地促進
		取組 9	自律的に発展できる経済システム構築に向けた広域経済圏の形成
	産業競争力の強化に向けた条件整備	取組 10	産業活動の基礎となる人材の育成・確保
		取組 11	経営力の向上と経営基盤の強化
		取組 12	宮城の飛躍を支える産業基盤の整備

調査結果の特徴

【重視度】

県全体の重視度を見ると、12 取組中3取組（「取組3：豊かな農林水産資源と結びついた食品製造業の振興（79.8%）」、「取組5：地域が潤う、訪れてよしの観光王国みやぎの実現（73.3%）」、「取組7：地産地消や食育を通じた需要の創出と食の安全安心の確保（75.7%）」）で高重視群（「重要」、「やや重要」と回答した者の割合）が7割を超えています。

一方、高重視群が6割を下回った取組は、「取組2：産学官の連携による高度技術産業の集積促進（55.3%）」、「取組4：高付加価値型サービス産業・情報産業及び地域商業の振興（50.7%）」、「取組8：県内企業のグローバルビジネスの推進と外資系企業の立地促進（38.8%）」、「取組9：自律的に発展できる経済システム構築に向けた広域経済圏の形成（51.3%）」、「取組11：経営力の向上と経営基盤の強化（57.1%）」となっています。

また、12 取組中6取組で「わからない」とする回答が2割を超えており、このうち「取組8」については3割を超えています。（図1-1-1）

属性別の高重視群について、県全体との主な差異を見ると、県全体では「取組3」が最も高くなっているのに対し、【仙台圏域】では「取組5」が最も高くなっています。（表1-1）

県全体の今回と前回調査（平成20年3月実施）との主な差異を見ると、「取組7」の高重視群が約7ポイント減少（82.4%→75.7%）、「取組9」が約9ポイント増加（42.5%→51.3%）しています。（表1-1）

【満足度】

県全体の満足度を見ると、12 取組中5取組で満足群（「満足」、「やや満足」と回答した者の割合）が4割を超えており、このうち「取組3（50.0%）」、「取組5（52.6%）」については5割を超えています。

一方、満足群が3割を下回った取組は、「取組4（28.8%）」、「取組8（22.3%）」、「取組11（26.5%）」となっています。

また、12 取組中6取組で「わからない」とする回答が4割を超えており、このうち「取組8」については5割を超えています。（図1-2-1）

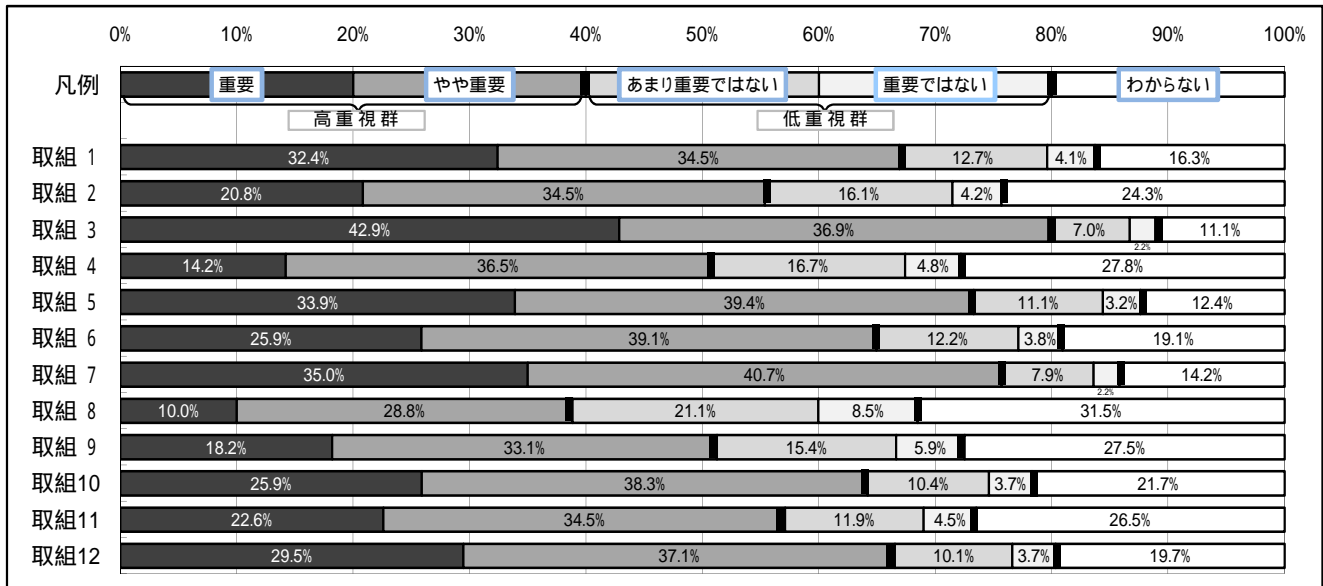
属性別の満足群について、県全体との主な差異を見ると、県全体では「取組5」が最も高くなっているのに対し、【男性】では「取組1：地域経済を力強くけん引するものづくり産業（製造業）の振興」が最も高く、【65歳以上】【栗原圏域】では「取組3」が、【登米圏域】では「取組12：宮城の飛躍を支える産業基盤の整備」が最も高くなっています。

県全体の今回と前回調査との主な差異を見ると、「取組1」の満足群が約5ポイント減少（48.5%→43.4%）、「取組5」が約7ポイント増加（45.5%→52.6%）、「取組7」が約5ポイント減少（49.9%→45.4%）、「取組12」が約5ポイント増加（38.2%→42.8%）しています。（表1-2）



【1-1】 重視度割合データ（富県宮城の実現～県内総生産10兆円への挑戦～<取組1～12>）

< 図1-1-1 重視度割合（全回答） >



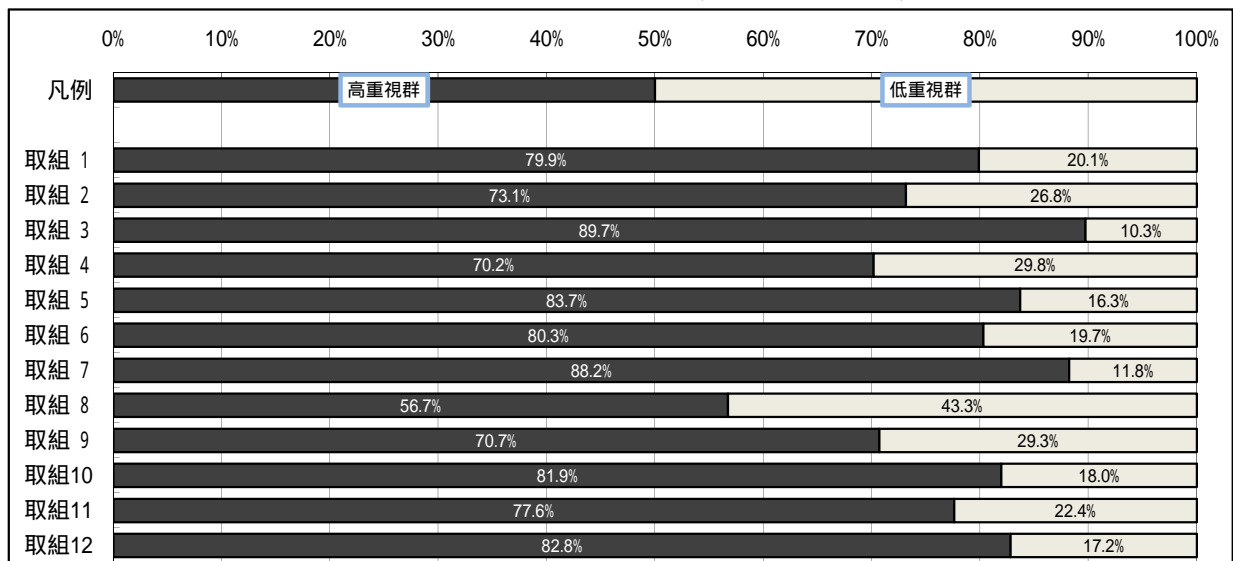
本図は、全回答（「重要」、「やや重要」、「あまり重要ではない」、「重要ではない」、「わからない」）について、それぞれの割合を表示したものです。

< 表1-1 高重視群一覧（回答者属性別） >

取組	県全体	(参考) 前回	性別		年齢別		圏域別						
			男性	女性	65歳未満	65歳以上	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
取組 1	66.9%	66.4%	73.6%	61.0%	67.6%	67.0%	69.4%	65.6%	71.0%	71.3%	69.5%	61.7%	61.4%
取組 2	55.3%	57.3%	62.9%	48.8%	53.2%	60.6%	54.3%	57.1%	53.5%	58.1%	57.1%	53.1%	54.5%
取組 3	79.8%	81.1%	82.6%	78.0%	81.7%	77.2%	81.9%	79.2%	78.8%	81.4%	77.9%	80.9%	79.1%
取組 4	50.7%	51.0%	57.3%	44.6%	48.6%	55.2%	54.4%	53.3%	52.4%	51.8%	46.1%	50.9%	42.4%
取組 5	73.3%	69.6%	74.4%	72.6%	74.5%	72.1%	77.7%	79.7%	70.8%	72.1%	66.8%	74.6%	73.8%
取組 6	65.0%	66.1%	71.4%	59.9%	64.7%	67.4%	66.2%	60.5%	60.6%	63.3%	66.1%	70.9%	70.6%
取組 7	75.7%	82.4%	77.4%	74.8%	76.6%	75.2%	77.1%	73.7%	76.0%	75.4%	76.2%	79.4%	74.4%
取組 8	38.8%	41.4%	46.4%	32.3%	35.7%	45.6%	38.3%	46.8%	35.8%	41.6%	37.6%	35.5%	35.6%
取組 9	51.3%	42.5%	61.6%	42.2%	48.9%	57.2%	50.2%	56.1%	50.4%	57.2%	51.6%	47.7%	46.0%
取組 10	64.2%	62.9%	71.9%	57.6%	64.5%	65.2%	64.9%	65.5%	63.2%	69.4%	63.0%	62.4%	63.0%
取組 11	57.1%	52.7%	65.1%	49.8%	56.6%	58.9%	53.3%	55.9%	59.9%	60.9%	58.5%	55.6%	54.2%
取組 12	66.6%	63.4%	73.8%	60.5%	66.7%	67.3%	68.7%	62.4%	63.2%	57.2%	73.9%	69.4%	73.0%

本表は、全回答に占める高重視群（「重要」、「やや重要」と回答した者）の割合を属性別に表示したものです。

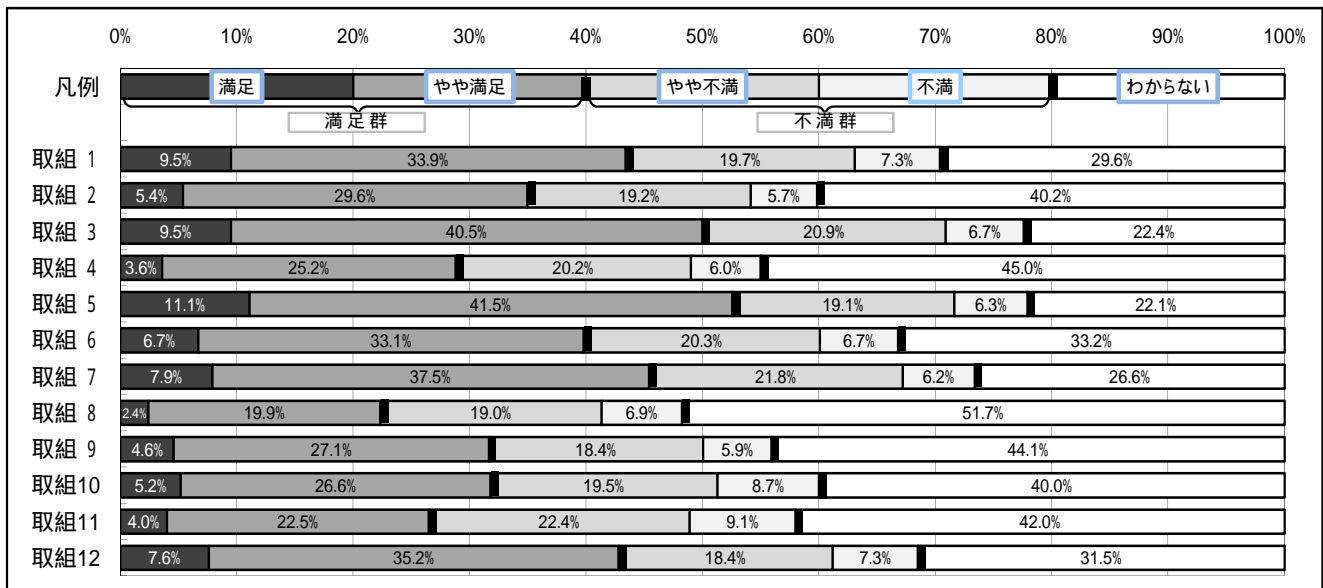
< 参考：図1-1-2 高・低重視群割合（回答「わからない」除く） >



本図は、全回答から「わからない」を除き、重視度を評価した回答者について高重視群と低重視群（「あまり重要ではない」、「重要ではない」と回答した者）の2つのグループに分類して、その割合を表示したものです。

【 1 - 2 】 満足度割合データ (富県宮城の実現 ~ 県内総生産10兆円への挑戦 ~ < 取組 1 ~ 12 >)

< 図1 - 2 - 1 満足度割合 (全回答) >



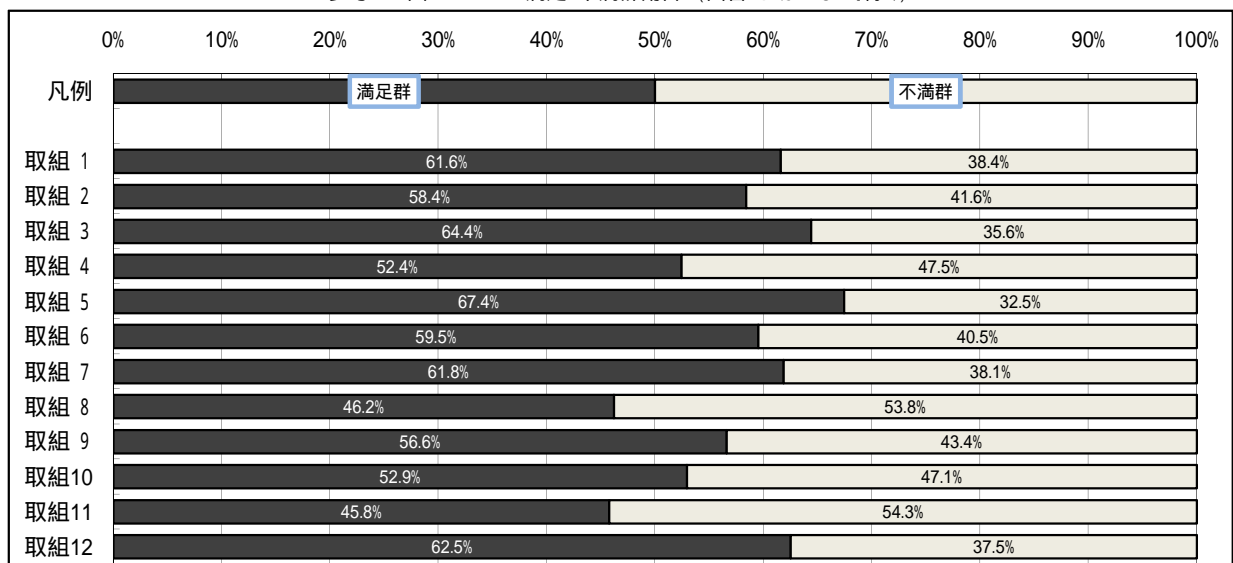
本図は、全回答(「満足」、「やや満足」、「やや不満」、「不満」、「わからない」)について、それぞれの割合を表示したものです。

< 表1 - 2 満足群一覧 (回答者属性別) >

取組	県全体	(参考) 前回	性別		年齢別		圏域別						
			男性	女性	65歳未満	65歳以上	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
取組 1	43.4%	48.5%	51.1%	36.3%	38.6%	54.0%	44.2%	48.6%	46.0%	41.5%	46.2%	41.2%	39.0%
取組 2	35.0%	38.3%	39.8%	30.6%	29.5%	46.3%	31.7%	35.7%	34.5%	35.7%	36.3%	34.9%	36.3%
取組 3	50.0%	51.9%	50.5%	49.9%	46.6%	57.5%	45.0%	50.5%	46.3%	52.3%	50.3%	51.1%	53.3%
取組 4	28.8%	29.9%	31.2%	26.6%	24.5%	37.6%	26.8%	29.7%	29.0%	28.5%	26.1%	30.8%	29.1%
取組 5	52.6%	45.5%	50.2%	55.0%	51.9%	54.2%	51.7%	59.6%	49.8%	49.8%	52.0%	53.0%	53.7%
取組 6	39.8%	38.8%	42.2%	37.8%	36.6%	47.1%	33.9%	37.1%	38.6%	34.5%	42.1%	43.8%	49.4%
取組 7	45.4%	49.9%	43.5%	47.2%	42.8%	51.3%	40.4%	44.8%	44.2%	46.3%	45.6%	45.0%	50.8%
取組 8	22.3%	24.5%	26.2%	18.8%	18.2%	30.9%	20.7%	24.7%	22.0%	23.0%	21.8%	20.8%	22.0%
取組 9	31.7%	28.8%	39.0%	25.3%	27.5%	41.3%	29.0%	35.0%	33.1%	38.1%	30.7%	27.5%	28.7%
取組10	31.8%	32.9%	34.6%	29.3%	28.7%	38.7%	29.8%	34.7%	32.3%	31.5%	31.4%	27.8%	35.2%
取組11	26.5%	26.9%	29.6%	23.8%	23.3%	33.2%	24.4%	26.1%	26.4%	27.6%	29.8%	24.9%	25.7%
取組12	42.8%	38.2%	47.6%	38.9%	41.1%	47.4%	38.8%	42.7%	41.7%	37.3%	53.1%	46.9%	42.3%

本表は、全回答に占める満足群(「満足」、「やや満足」と回答した者)の割合を属性別に表示したものです。

< 参考 : 図1 - 2 - 2 満足・不満群割合 (回答「わからない」除く) >



本図は、全回答から「わからない」を除き、満足度を評価した回答者について満足群と不満群(「やや不満」、「不満」と回答した者)の2つのグループに分類して、その割合を表示したものです。

(2) 安心と活力に満ちた地域社会づくり

政策推進の基本方向・課題		取組	
安心と活力に満ちた地域社会づくり	子どもを生き育てやすい環境づくり	取組 13	次代を担う子どもを安心して生き育てることができる環境づくり
		取組 14	家庭・地域・学校の協働による子どもの健全な育成
	将来の宮城を担う子どもの教育環境づくり	取組 15	着実な学力向上と希望する進路の実現
		取組 16	豊かな心と健やかな体の育成
		取組 17	児童生徒や地域のニーズに応じた特色ある教育環境づくり
	生涯現役で安心して暮らせる社会の構築	取組 18	多様な就業機会や就業環境の創出
		取組 19	安心できる地域医療の充実
		取組 20	生涯を豊かに暮らすための健康づくり
		取組 21	高齢者が元気に安心して暮らせる環境づくり
		取組 22	障害があっても安心して生活できる地域社会の実現
		取組 23	生涯学習社会の確立とスポーツ・文化芸術の振興
	コンパクトで機能的なまちづくりと地域生活の充実	取組 24	コンパクトで機能的なまちづくりと地域生活の充実
	だれもが安全に、尊重し合いながら暮らせる環境づくり	取組 25	安全で安心なまちづくり
		取組 26	外国人も活躍できる地域づくり

調査結果の特徴

【重視度】

県全体の重視度を見ると、14 取組中 11 取組で高重視群（「重要」、「やや重要」と回答した者の割合）が7割を超えており、このうち「取組 13:次代を担う子どもを安心して生き育てることができる環境づくり(87.4%)」、「取組 14:家庭・地域・学校の協働による子どもの健全な育成(81.7%)」、「取組 16:豊かな心と健やかな体の育成(81.6%)」、「取組 19:安心できる地域医療の充実(89.1%)」、「取組 20:生涯を豊かに暮らすための健康づくり(80.6%)」、「取組 21:高齢者が元気に安心して暮らせる環境づくり(83.1%)」については8割を超えています。

一方、高重視群が6割を下回った取組は、「取組 23:生涯学習社会の確立とスポーツ・文化芸術の振興(52.5%)」、「取組 26:外国人も活躍できる地域づくり(45.6%)」となっています。

また、14 取組中3取組で「わからない」とする回答が2割を超えています。(図2-1-1)

属性別の高重視群について、県全体との主な差異を見ると、県全体では「取組 19」が最も高くなっているのに対し、【仙南圏域】【大崎圏域】【栗原圏域】では「取組 13」が最も高くなっています。(表2-1)

県全体の今回と前回調査(平成20年3月実施)との主な差異を見ると、「取組 15:着実な学力向上と希望する進路の実現」の高重視群が約9ポイント減少(83.9% 75.0%)しています。(表2-1)

【満足度】

県全体の満足度を見ると、14 取組中4取組（「取組 13(41.5%)」、「取組 14(44.9%)」、「取組 20(44.4%)」、「取組 25:安全で安心なまちづくり(41.1%)」）で満足群（「満足」、「やや満足」と回答した者の割合）が4割を超えています。

一方、満足群が3割を下回った取組は、「取組 26(26.1%)」となっています。

また、14 取組中2取組で「わからない」とする回答が4割を超えており、このうち「取組 26」については、その割合が5割を超えています。(図2-2-1)

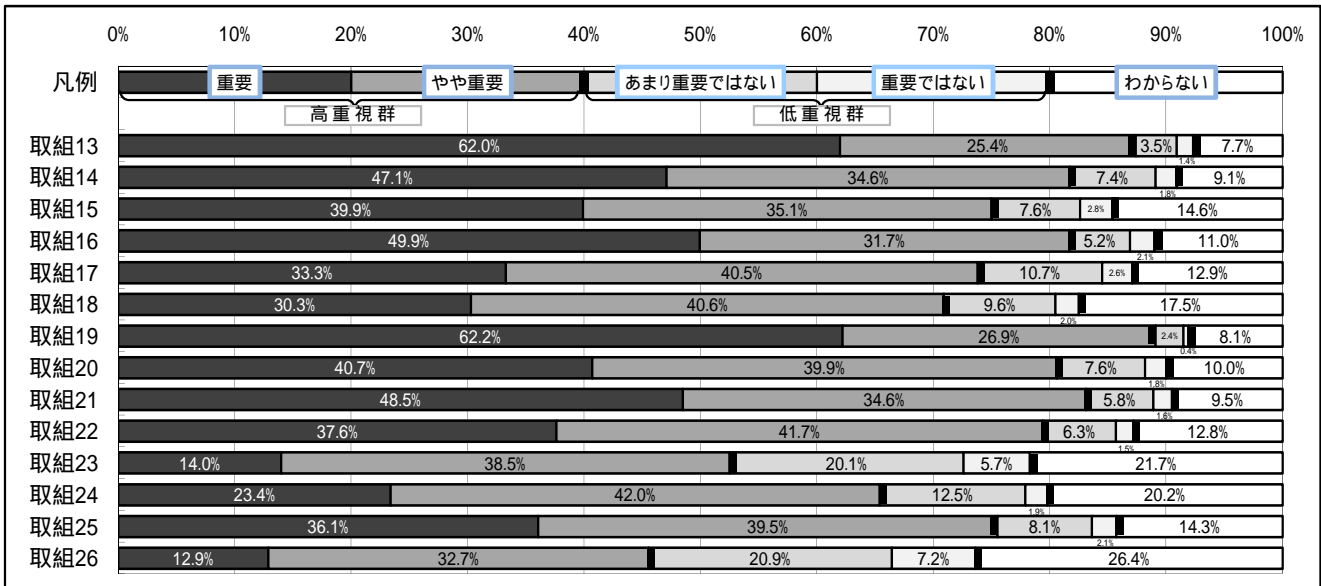
属性別の満足群について、県全体との主な差異を見ると、県全体では「取組 14」が最も高くなっているのに対し、【仙南圏域】では「取組 13」、【男性】【65歳以上】【仙台圏域】【栗原圏域】【石巻圏域】【気仙沼・本吉圏域】では「取組 20」が最も高くなっています。(表2-2)

県全体の今回と前回調査との主な差異を見ると、「取組 21」の満足群が約5ポイント減少(43.1% 38.6%)しています。(表2-2)



【 2 - 1 】 重視度割合データ (安心と活力に満ちた地域社会づくり < 取組13~26 >)

< 図2-1-1 重視度割合 (全回答) >



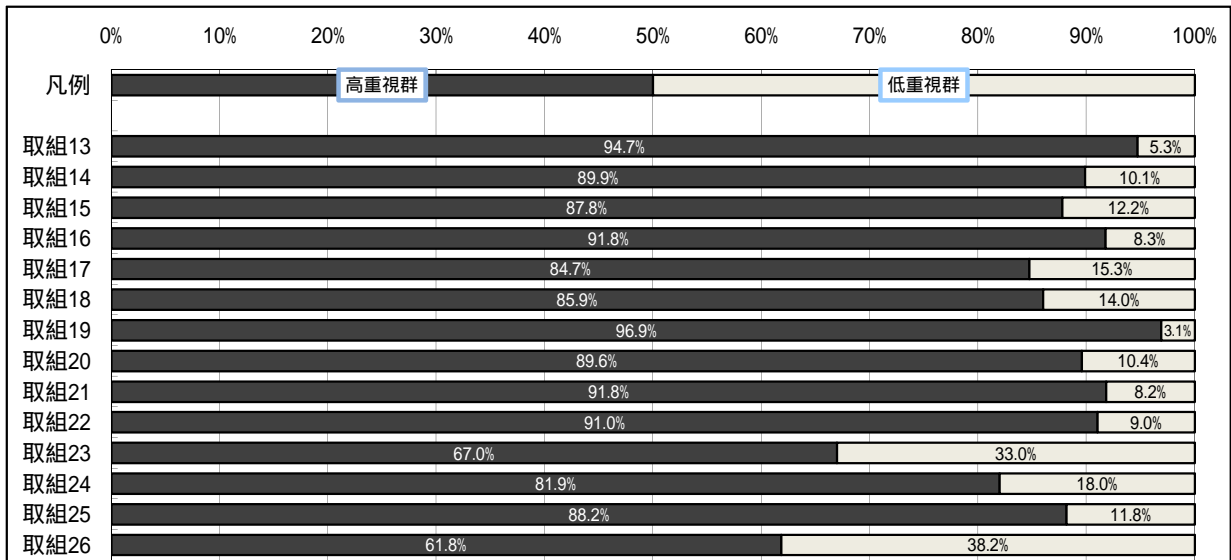
本図は、全回答(「重要」、「やや重要」、「あまり重要ではない」、「重要ではない」、「わからない」)について、それぞれの割合を表示したものです。

< 表2-1 高重視群一覧 (回答者属性別) >

取組	県全体	(参考) 前回	性別		年齢別		圏域別						
			男性	女性	65歳未満	65歳以上	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
取組13	87.4%	89.8%	87.8%	87.4%	89.1%	84.5%	91.3%	88.0%	88.2%	88.0%	87.2%	86.8%	83.1%
取組14	81.7%	85.0%	79.1%	84.2%	82.1%	81.4%	82.0%	83.9%	83.4%	80.7%	83.1%	78.3%	80.7%
取組15	75.0%	83.9%	76.2%	74.6%	77.3%	72.0%	76.7%	74.2%	75.7%	75.2%	77.9%	76.9%	70.8%
取組16	81.6%	79.6%	81.4%	82.1%	83.1%	79.3%	84.4%	82.8%	83.2%	83.9%	81.9%	84.3%	72.0%
取組17	73.8%	76.2%	72.6%	75.4%	75.2%	72.3%	74.8%	76.9%	74.8%	71.9%	76.9%	75.7%	67.8%
取組18	70.9%	73.2%	73.6%	69.3%	73.7%	66.9%	76.8%	74.3%	75.6%	72.0%	71.0%	65.6%	64.4%
取組19	89.1%	91.1%	90.2%	88.4%	90.6%	87.2%	91.2%	91.8%	85.5%	87.5%	90.1%	90.5%	88.5%
取組20	80.6%	77.5%	79.0%	83.2%	81.1%	81.4%	83.0%	87.8%	77.7%	80.8%	79.1%	82.0%	77.8%
取組21	83.1%	83.4%	82.0%	84.5%	83.1%	84.4%	84.7%	87.3%	81.9%	82.2%	82.9%	82.4%	81.4%
取組22	79.3%	78.6%	79.6%	79.4%	80.2%	78.4%	80.7%	79.9%	76.6%	79.2%	81.4%	78.5%	79.2%
取組23	52.5%	51.7%	53.3%	52.3%	51.4%	55.7%	54.1%	52.9%	52.3%	54.2%	53.9%	53.0%	48.1%
取組24	65.4%	62.3%	68.4%	62.6%	65.5%	65.6%	69.8%	63.1%	62.5%	64.6%	68.1%	65.9%	62.3%
取組25	75.6%	74.8%	76.6%	74.6%	75.5%	76.2%	80.3%	76.8%	74.9%	74.6%	78.6%	74.2%	69.0%
取組26	45.6%	44.0%	47.2%	44.6%	45.1%	47.8%	50.2%	42.9%	47.7%	41.4%	45.9%	45.8%	45.9%

本表は、全回答に占める高重視群(「重要」、「やや重要」と回答した者)の割合を属性別に表示したものです。

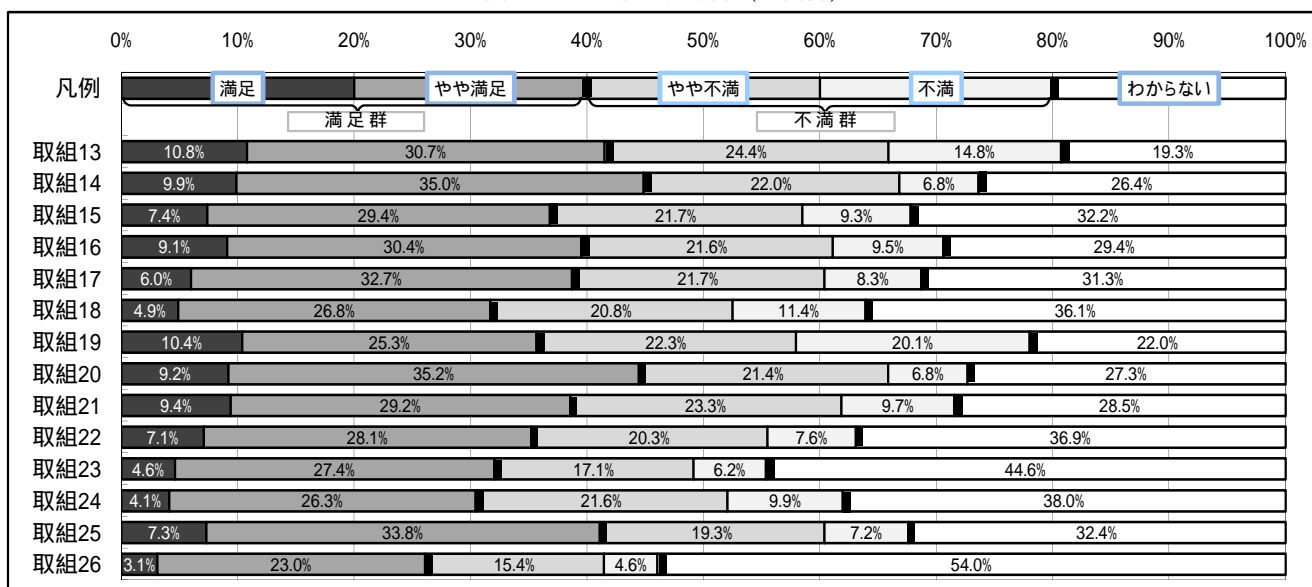
< 参考 : 図2-1-2 高・低重視群割合 (回答「わからない」除く) >



本図は、全回答から「わからない」を除き、重視度を評価した回答者について高重視群と低重視群(「あまり重要ではない」、「重要ではない」と回答した者)の2つのグループに分類して、その割合を表示したものです。

【2-2】 満足度割合データ（安心と活力に満ちた地域社会づくり <取組13～26>）

< 図2-2-1 満足度割合（全回答） >



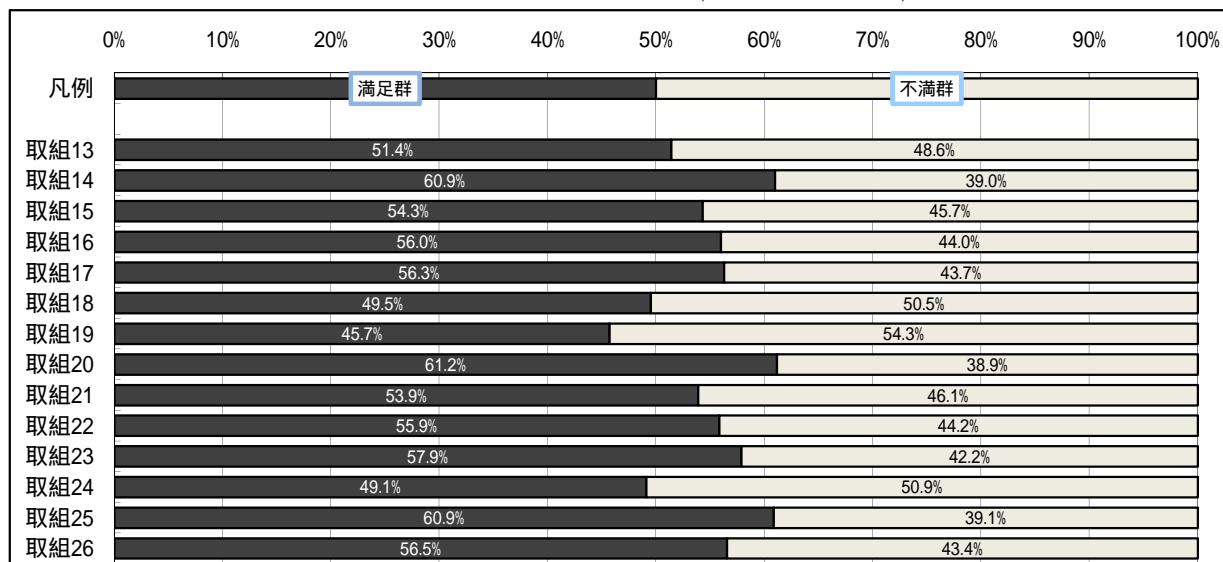
本図は、全回答（「満足」、「やや満足」、「やや不満」、「不満」、「わからない」）について、それぞれの割合を表示したものです。

< 表2-2 満足群一覧（回答者属性別） >

	県全体	(参考) 前回	性別		年齢別		圏域別						
			男性	女性	65歳未満	65歳以上	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
取組13	41.5%	42.6%	39.5%	43.0%	37.4%	49.4%	38.5%	46.1%	41.1%	44.1%	38.1%	38.7%	40.3%
取組14	44.9%	47.6%	42.1%	47.7%	41.4%	52.4%	38.4%	48.3%	47.3%	47.7%	44.2%	43.8%	43.3%
取組15	36.8%	40.6%	36.4%	37.5%	32.9%	45.8%	31.1%	39.6%	33.2%	39.4%	36.8%	39.8%	37.5%
取組16	39.5%	41.9%	38.1%	41.1%	36.1%	47.3%	34.1%	47.0%	36.7%	42.2%	38.1%	41.0%	38.0%
取組17	38.7%	41.1%	37.1%	40.3%	34.5%	47.9%	31.7%	42.3%	38.4%	39.0%	40.7%	41.5%	38.3%
取組18	31.7%	35.7%	32.9%	31.2%	27.9%	40.6%	27.4%	37.4%	31.1%	33.4%	30.7%	32.3%	31.5%
取組19	35.7%	36.3%	35.3%	36.3%	31.0%	45.7%	31.2%	40.6%	35.1%	36.6%	33.6%	35.0%	35.8%
取組20	44.4%	42.7%	43.3%	46.4%	41.1%	52.9%	38.3%	50.7%	42.1%	48.2%	42.9%	46.8%	44.7%
取組21	38.6%	43.1%	37.0%	39.9%	33.6%	48.6%	32.0%	40.4%	36.1%	42.6%	39.6%	35.9%	41.6%
取組22	35.2%	37.2%	34.8%	35.7%	31.5%	43.3%	32.4%	37.5%	37.0%	32.6%	38.1%	31.3%	36.9%
取組23	32.0%	32.8%	33.5%	30.5%	27.0%	41.9%	31.5%	29.7%	32.0%	30.6%	33.7%	36.3%	30.1%
取組24	30.4%	27.7%	31.5%	29.9%	26.9%	38.8%	28.9%	25.8%	32.4%	29.3%	34.1%	29.9%	31.8%
取組25	41.1%	37.3%	41.9%	40.1%	37.4%	48.6%	38.3%	47.6%	38.3%	38.5%	43.9%	38.0%	41.0%
取組26	26.1%	25.6%	27.7%	24.9%	23.8%	31.6%	28.7%	27.4%	27.1%	21.8%	28.0%	23.0%	26.8%

本表は、全回答に占める満足群（「満足」、「やや満足」と回答した者）の割合を属性別に表示したものです。

< 参考：図2-2-2 満足・不満群割合（回答「わからない」除く） >



本図は、全回答から「わからない」を除き、満足度を評価した回答者について満足群と不満群（「やや不満」、「不満」と回答した者）の2つのグループに分類して、その割合を表示したものです。

(3) 人と自然が調和した美しく安全な県土づくり

政策推進の基本方向・課題		取組	
美しく安全な県土づくり 人と自然が調和した	経済・社会の持続的発展と環境保全の両立	取組 27	環境に配慮した社会経済システムの構築と地球環境保全への貢献
		取組 28	廃棄物等の3R(発生抑制・再使用・再生利用)と適正処理の推進
	豊かな自然環境,生活環境の保全	取組 29	豊かな自然環境,生活環境の保全
	住民参画型の社会資本整備や良好な景観の形成	取組 30	住民参画型の社会資本整備や良好な景観の形成
	宮城県沖地震など大規模災害による被害を最小限にする県土づくり	取組 31	宮城県沖地震に備えた施設整備や情報ネットワークの充実
		取組 32	洪水や土砂災害などの大規模自然災害対策の推進
		取組 33	地域ぐるみの防災体制の充実

調査結果の特徴

【重視度】

県全体の重視度を見ると、7取組中6取組で高重視群(「重要」,「やや重要」と回答した者の割合)が7割を超えており、このうち「取組 28:廃棄物等の3R(発生抑制・再使用・再生利用)と適正処理の推進(82.0%)」,「取組 31:宮城県沖地震に備えた施設整備や情報ネットワークの充実(91.5%)」,「取組 32:洪水や土砂災害などの大規模自然災害対策の推進(85.8%)」,「取組 33:地域ぐるみの防災体制の充実(81.8%)」については8割を超えています。

一方、高重視群が6割を下回った取組はありませんでした。

また、7取組中1取組で「わからない」とする回答が2割を超えています。(図3-1-1)

属性別の高重視群について、県全体との主な差異を見ると、いずれの属性も県全体と同様に「取組 31」が最も高くなっています。(表3-1)

【満足度】

県全体の満足度見ると、7取組中5取組(「取組 28(43.2%)」,「取組 29:豊かな自然環境,生活環境の保全(41.5%)」,「取組 31(49.6%)」,「取組 32(42.9%)」,「取組 33(42.1%)」)で満足群(「満足」,「やや満足」と回答した者の割合)が4割を超えています。

一方、満足群が3割を下回った取組はありませんでした。

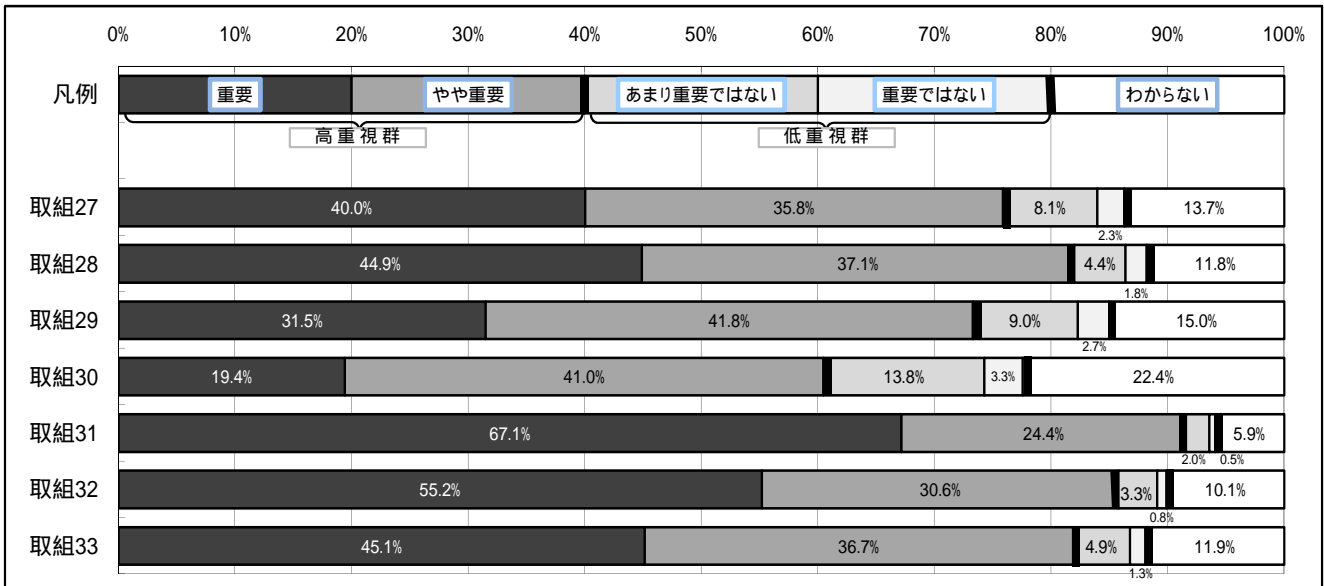
また、7取組中1取組で「わからない」とする回答が4割を超えています。(図3-2-1)

属性別の満足群について、県全体との主な差異を見ると、いずれの属性も県全体と同様に「取組 31」が最も高くなっています。(表3-2)



【3-1】 重視度割合データ (人と自然が調和した美しく安全な県土づくり <取組27~33>)

< 図3-1-1 重視度割合 (全回答) >



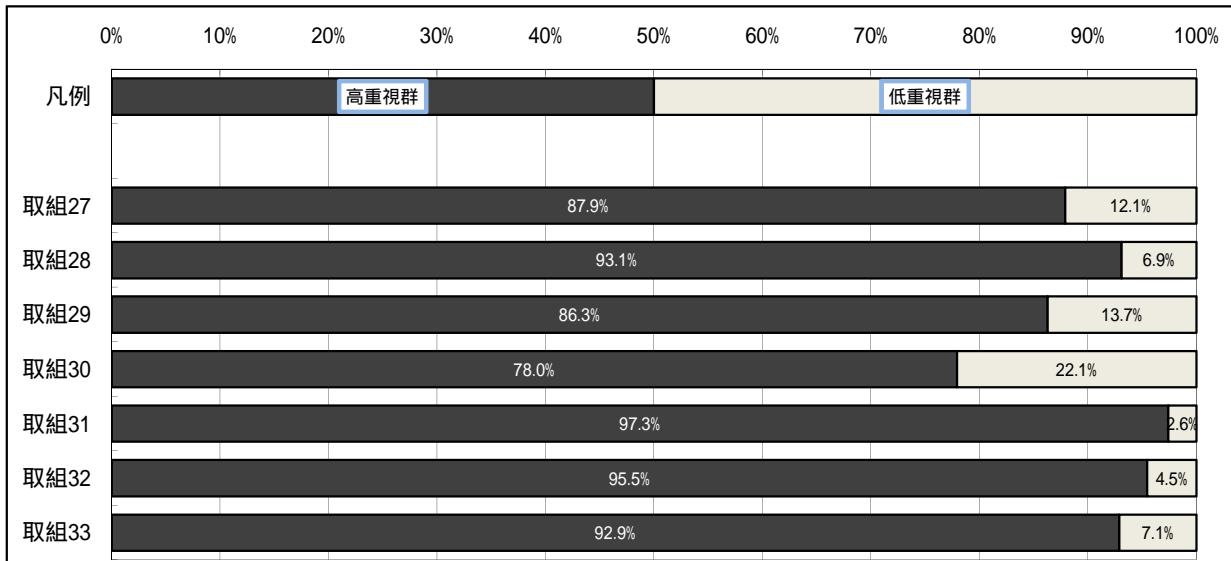
本図は、全回答(「重要」、「やや重要」、「あまり重要ではない」、「重要ではない」、「わからない」)について、それぞれの割合を表示したものです。

< 表3-1 高重視群一覧 (回答者属性別) >

	県全体	(参考) 前回	性別		年齢別		圏域別						
			男性	女性	65歳未満	65歳以上	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
取組27	75.8%	73.1%	78.9%	73.5%	79.4%	69.9%	79.6%	80.8%	75.6%	76.0%	73.6%	75.6%	71.3%
取組28	82.0%	84.1%	85.8%	78.8%	83.5%	79.6%	86.3%	82.7%	81.7%	82.9%	80.4%	82.9%	77.4%
取組29	73.3%	73.0%	75.5%	71.2%	73.0%	73.9%	74.5%	75.9%	72.2%	71.0%	74.8%	72.7%	71.1%
取組30	60.4%	60.0%	66.6%	55.0%	58.5%	64.9%	59.6%	65.8%	64.5%	61.6%	57.6%	58.0%	58.3%
取組31	91.5%	91.0%	92.6%	90.8%	93.5%	88.7%	93.0%	90.1%	89.6%	92.3%	92.8%	93.3%	91.1%
取組32	85.8%	83.7%	88.2%	84.0%	87.4%	83.8%	85.1%	87.3%	84.4%	88.3%	84.0%	84.1%	87.2%
取組33	81.8%	81.3%	83.7%	80.1%	82.4%	81.3%	81.2%	83.4%	81.2%	84.1%	82.2%	79.5%	81.5%

本表は、全回答に占める高重視群(「重要」、「やや重要」と回答した者)の割合を属性別に表示したものです。

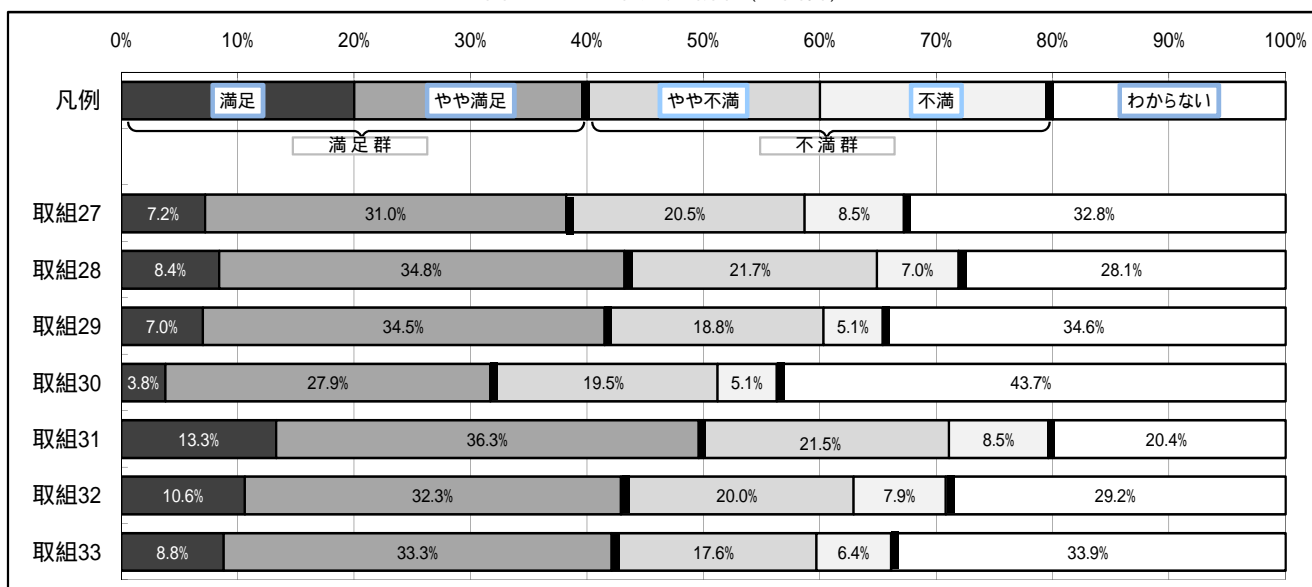
< 参考 : 図3-1-2 高・低重視群割合 (回答「わからない」除く) >



本図は、全回答から「わからない」を除き、重視度を評価した回答者について高重視群と低重視群(「あまり重要ではない」、「重要ではない」と回答した者)の2つのグループに分類して、その割合を表示したものです。

【3-2】 満足度割合データ（人と自然が調和した美しく安全な県土づくり <取組27~33>）

< 図3-2-1 満足度割合（全回答） >



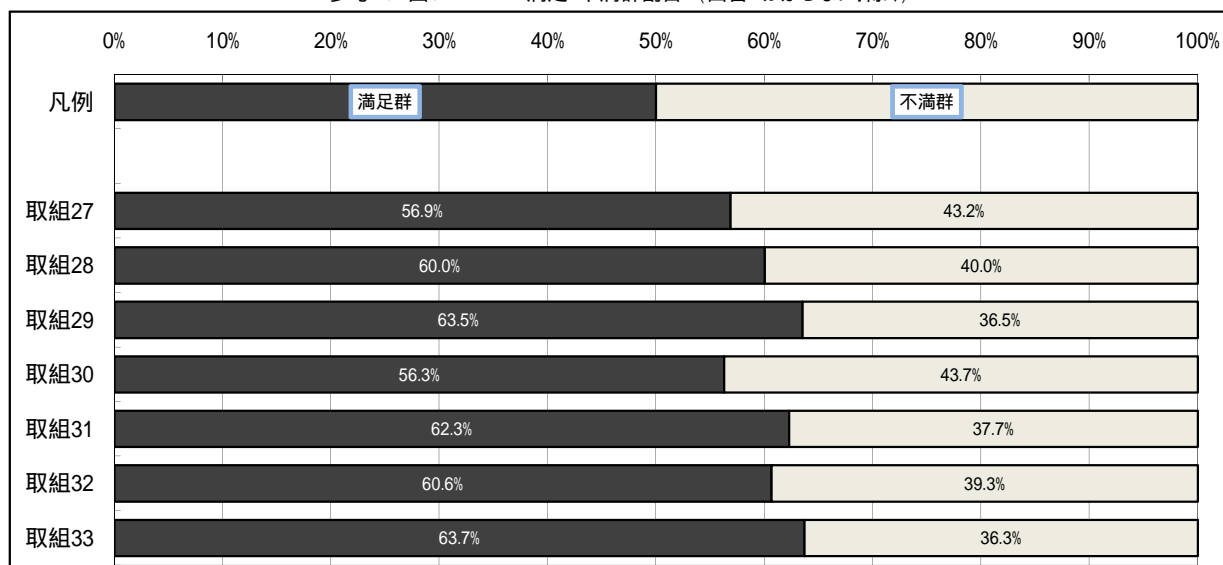
本図は、全回答（「満足」、「やや満足」、「やや不満」、「不満」、「わからない」）について、それぞれの割合を表示したものです。

< 表3-2 満足群一覧（回答者属性別） >

	県全体	(参考) 前回	性別		年齢別		圏域別						
			男性	女性	65歳未満	65歳以上	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
取組27	38.2%	35.3%	37.7%	38.9%	37.2%	41.0%	34.7%	37.5%	41.4%	39.4%	38.2%	38.4%	37.4%
取組28	43.2%	44.3%	45.0%	41.1%	40.5%	48.3%	44.2%	44.0%	42.8%	44.0%	46.9%	38.7%	40.6%
取組29	41.5%	41.6%	43.6%	39.6%	38.1%	48.9%	38.2%	46.8%	42.2%	41.6%	41.2%	40.3%	39.7%
取組30	31.7%	31.7%	33.6%	30.2%	27.9%	40.2%	28.4%	32.5%	31.5%	31.9%	31.9%	31.0%	34.4%
取組31	49.6%	51.6%	50.4%	49.0%	46.5%	56.5%	49.8%	51.3%	48.5%	47.8%	50.3%	47.4%	51.0%
取組32	42.9%	43.5%	43.5%	42.4%	38.3%	52.3%	40.2%	45.1%	40.4%	43.4%	46.5%	38.8%	44.3%
取組33	42.1%	41.8%	43.3%	41.4%	37.5%	52.1%	41.0%	41.0%	47.3%	40.4%	42.0%	42.0%	41.7%

本表は、全回答に占める満足群（「満足」、「やや満足」と回答した者）の割合を属性別に表示したものです。

< 参考：図3-2-2 満足・不満群割合（回答「わからない」除く） >



本図は、全回答から「わからない」を除き、満足度を評価した回答者について高満足群と低満足群（「あまり重要ではない」、「重要ではない」と回答した者）の2つのグループに分類して、その割合を表示したものです。

(4) 各取組における特に優先すべきと思う項目調査結果

取組ごとに特に優先すべきと思う項目を調査したところ、次のような結果となりました。(複数回答)

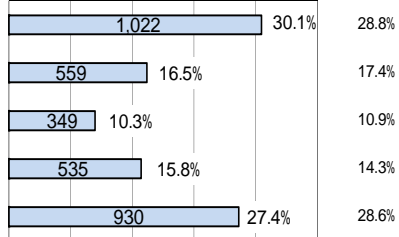
【1. 富県宮城の実現～県内総生産10兆円への挑戦～】

育成・誘致による県内製造業の集積促進

取組1 地域経済を力強くけん引するものづくり産業(製造業)の振興

- ア みやぎ産業振興機構などの産業支援機関と連携して行う、県内製造業の技術力、営業力、販売力などの強化への支援
- イ 自動車関連産業を活発にするための下地となる県内製造業の技術力の向上や設備投資への支援や隣接県の試験研究機関との連携による技術開発への支援
- ウ 岩手・山形県等と連携して関東・東海圏域で商談会を開催するなど、受注機会の拡大促進
- エ 光関連産業や生活福祉関連産業など市場拡大が期待される分野での、技術開発や製品開発への取組支援
- オ 半導体関連産業など経済波及効果の高い業種や、雇用の増加につながる業種などを中心とした、地域経済の核となる企業の誘致促進

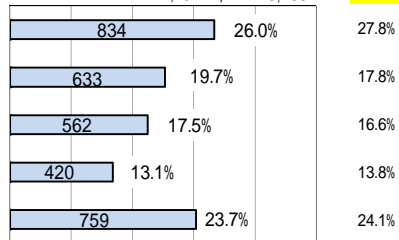
n(回答者数) = 1,807, N(回答数累計) = 3,395



取組2 産学官の連携による高度技術産業の集積促進

- ア 高度技術を活用した産業を作り出したいと考える企業と大学などの人材や技術の相互交流、共同研究、ネットワークづくり
- イ 大学や県内企業などによるプロジェクトに、国からの大規模な資金を使えるようにするための支援
- ウ 知的財産・未利用特許を持つ県内企業や大学などと、それを使った開発を行える企業の仲介や、そのような技術を利用して行う新製品の開発支援
- エ これから整備される東北大学サイエンスパークなどでの産業界と大学が連携した研究成果を活用した新製品の開発支援
- オ 独自技術を持つ企業の共同研究や、医学と工学が分野を超えて行う研究などによる新製品開発への支援

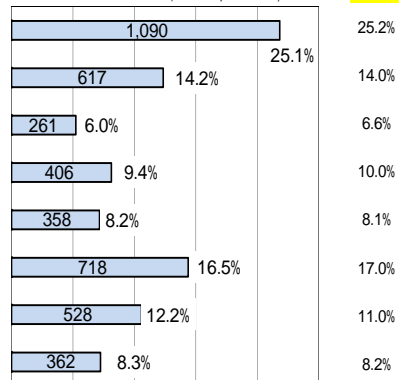
n = 1,782, N = 3,208



取組3 豊かな農林水産資源と結びついた食品製造業の振興

- ア 高齢化社会や健康志向などを踏まえて行う、消費者が求める商品づくり
- イ 新たな加工食品などの開発を、農林水産業、食品製造業者等が協力しながら行う体制づくりへの支援
- ウ 県内での取引を活発にするための、企業間の取引などの仲介
- エ 商品開発力や販売力を強化するための食品製造業の経営革新
- オ 産学官の連携や地域の食文化を生かした新商品開発
- カ 販売競争を有利に進めるための県産食品のイメージアップ
- キ 県や関係機関が協力して行う大規模商談会や、首都圏などで開催される国際規模の商談会での、県産食品の取引拡大に向けた支援
- ク 首都圏などでの市場調査や、企業間の販売や取引の仲介の支援

n = 1,843, N = 4,340

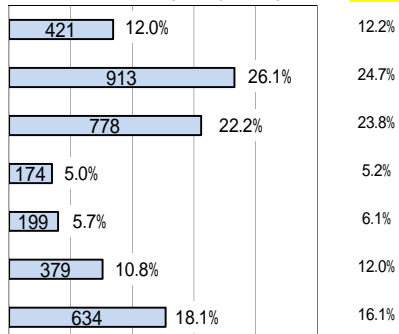


観光資源・知的資産を活用した商業・サービス産業の強化

取組4 高付加価値型サービス産業・情報産業及び地域商業の振興

- ア 地域経済を活性化させる新たな事業モデルづくりや、世界規模での商取引や流通の合理化など、経済構造の変化に対応した新たな事業展開に対するアドバイス機能の充実
- イ 地域の住民が主体となって地域の課題解決に取り組み、それにより地域を活性化するコミュニティビジネスのような、地域や生活に密着したサービス業を行う場合の支援
- ウ 地域住民や公共サービスと連携した地域商業の活性化支援
- エ コールセンターなどの企業(サービス業)の誘致促進
- オ 情報関連技術者の養成と、企業が経営革新する場合の情報関連技術の積極的活用
- カ 情報関連産業で活躍できる高度な技術を持つ人材の育成支援
- キ 健康福祉分野や家電製品の組込みソフトなど、成長が期待される分野での市場占有率獲得を目指した技術習得、人材交流、商品開発などへの支援

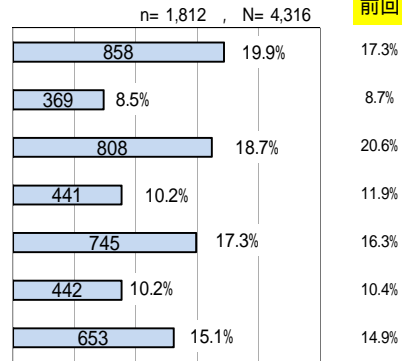
n = 1,803, N = 3,498



各表の「割合 (%)」は回答数累計(N)に占める各項目の回答数の割合、「前回」は前回調査(平成20年3月実施)の結果です。

取組 5 地域が潤う、訪れてよしの観光王国みやぎの実現

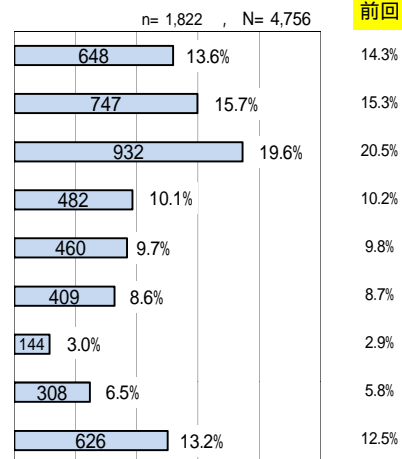
- ア 「仙台・宮城destinationキャンペーン（全国に向けて集中的に行う大型観光キャンペーン）」など催し物や行事を活用した積極的な観光客誘致
- イ インターネットや広報媒体などを活用した効果的な情報発信や団塊の世代などの絞った集客活動
- ウ 地域一体となった「もてなしの心」向上のための取組強化や、だれもが安全安心に観光できる環境づくり
- エ 観光施設及び案内板・標識の整備、バリアフリー・ユニバーサルデザインの普及
- オ 温泉や食材、プロスポーツなど宮城独自の資源を生かした体験・滞在型観光の発掘・整備
- カ 自然環境や伝統文化などを活用したグリーン・ツーリズム及びエコ・ツーリズム推進体制づくり
- キ 東北各県や関係機関との連携による観光ルートの設定など観光推進組織の強化



地域経済を支える農林水産業の競争力強化

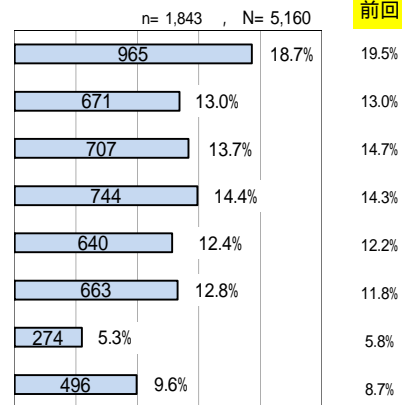
取組 6 競争力ある農林水産業への転換

- ア 消費者の視点に立って商品を生産していく農林水産業への転換支援
- イ 「食材王国みやぎ」を支える県産農林水産物のブランド化
- ウ 安全安心な農林水産物の生産と安定供給体制の確立支援
- エ 農業者が生産から流通・加工・販売などを一体で行うアグリビジネスなど企業の経営の促進
- オ 水産資源の適切な保全と管理、養殖や増殖の推進及び生育環境の保全と改善
- カ 計画的な森林づくりから木材流通までの生産経費の低減、良質な製材品の生産の促進
- キ 農林水産業と流通加工業等との取引の仲介支援
- ク 東アジア市場など海外にも目を向けた、県産食品の輸出促進
- ケ 農林水産業の経営力や技術力の向上と、効率的な生産を支える基盤づくり



取組 7 地産地消や食育を通じた需要の創出と食の安全安心の確保

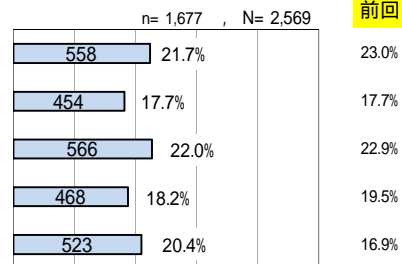
- ア 安全安心な食品の安定供給のための、環境保全型農業を実施する農業者の育成や食品の衛生管理体制の確立
- イ 生産者・事業者と消費者の間での食材や食品についての情報共有による相互理解など、安全安心についての信頼関係づくり
- ウ 行政、生産者、事業者、消費者などが連携して行う食の安全安心を支える体制づくり
- エ 地産地消につながる県産食材の学校給食への利用促進
- オ 地元食材を県内で消費できる各地域での仕組みづくりや直売施設の活用・支援
- カ 宮城の豊かな「食」を生かした食育の推進
- キ 県産食材の再認識・再発見を促す情報や機会の提供と県内供給力の向上
- ク 県産木材を積極的に使うことが森を育てることにつながる「みやぎの木づかい運動」の推進や、県産木材の利用技術の開発支援、「優良みやぎ材」の利用促進



アジアに開かれた広域経済圏の形成

取組 8 県内企業のグローバルビジネスの推進と外資系企業の立地促進

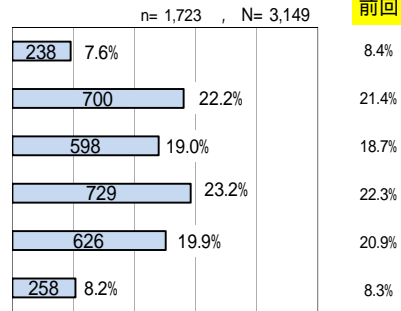
- ア 県の海外事務所や関係機関が連携し、海外展開を目指す県内企業の国際的経済活動への総合的な支援体制づくり
- イ 海外との取引拡大に向けた市場調査、海外取引事務や知的財産保護対策等の専門知識の提供、アドバイスや取引仲介機能など支援体制の強化
- ウ 県産品の販売先開拓や原材料調達のための商談会開催など、海外との取引機会の拡大支援
- エ 産学共同を推し進めている東北大学と協力するなど、みやぎの優位性を生かした外資系企業・研究機関の立地促進
- オ 東アジア諸国や今後の成長が期待されるロシア極東地域をはじめとする近隣諸国との経済交流の促進



各表の「割合 (%)」は回答数累計(N)に占める各項目の回答数の割合、「前回」は前回調査(平成20年3月実施)の結果です。

取組 9 自律的に発展できる経済システム構築に向けた広域経済圏の形成

- ア 山形県との連携に関する基本構想の具体化と連携促進
- イ 自動車関連産業や情報関連産業分野での、岩手・山形両県をはじめとする東北各県との連携促進
- ウ 県境を越えた企業、研究機関の間での役割分担や協力体制づくりによる、東北地方への産業集積の支援
- エ 三陸縦貫自動車道をはじめとする、広域的な経済活動を支える交通・情報などのネットワークづくり
- オ 東北各県との連携による広域観光ルートの設定など、観光推進組織づくり
- カ 隣接県と連携した国内外拠点事務所の共同運営や、企業の海外進出を支援する体制づくり

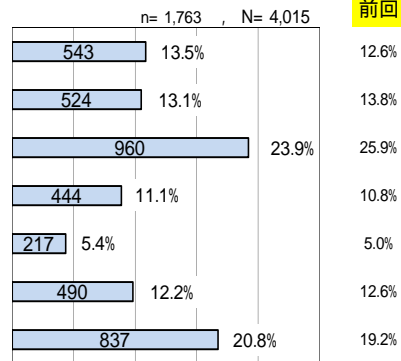


前回

産業競争力の強化に向けた条件整備

取組 10 産業活動の基礎となる人材の育成・確保

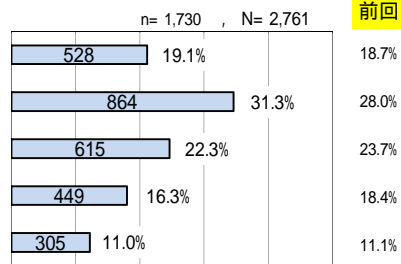
- ア 社会情勢の変化や国際化に対応し、事業のチャンスを捉え、県経済をリードする次代のリーダーや起業家的人材の育成・定着
- イ 企業での実習と学校での座学を並行して行うなど、学校と地域企業が一体となった産業人材の育成
- ウ 働く意欲のある女性や高齢者の、個々の能力や実績に応じた就業・雇用環境づくりや能力開発
- エ 宮城県内の基幹産業である製造業の発展を担うものづくり人材の育成体制づくり
- オ 県内大学等への留学生など高度な専門知識や技術力を持つ外国人の、卒業後の県内企業や研究機関への就業
- カ まちづくりと連携した、地域の活性化につながる商店街づくりを行いつつ、安定した経営ができる人材の育成
- キ 社会情勢の変化に対応しながら、次代の農林水産業を担う人材・後継者の育成確保



前回

取組 11 経営力の向上と経営基盤の強化

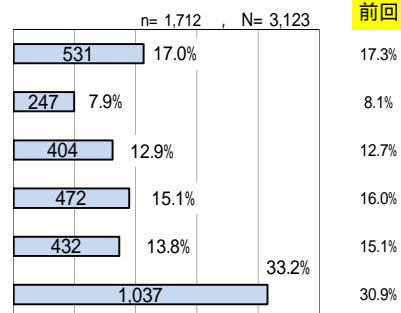
- ア 起業家の育成や事業計画の作成支援など、産業支援機関等と連携したさまざまな経営支援体制の充実
- イ 農林水産業の経営の基礎を固めるための支援と、社会情勢に応じた経営のできる人材育成
- ウ 社会情勢に的確に対応できる経営体の育成のため、商工会議所、農業協同組合など産業ごとの関連団体と連携して行う情報提供や相談機能強化
- エ 自動車関連産業や食品関連産業など、成長が見込まれ経済の中核をなす業種を、重点的に支援するための制度融資の充実
- オ ファンドや証券化の手法を活用した資金供給、企業の成長性を評価する融資制度づくりなど、中小企業にとって利用しやすいさまざまな資金調達手段の整備



前回

取組 12 宮城の飛躍を支える産業基盤の整備

- ア 貨物量の増加や船舶の大型化に対応した岸壁やふ頭用地の造成など、港湾機能拡充のための施設整備
- イ 港湾貨物の需要開拓及び新規航路開設に向けた誘致活動（ポートセールス）の強化
- ウ 仙台港背後地の整備など港周辺地域の貿易関連機能や流通・工業機能の整備促進
- エ 仙台空港の航空路線の維持・増便と新規路線の開設に向けた空港利用促進活動の強化
- オ 仙台空港アクセス鉄道沿線の臨空都市整備など、産業経済拠点づくりに向けた流通・商業機能の整備促進
- カ 三陸縦貫自動車道など高速道路網及び広域ネットワークづくりに向けた道路網の整備促進



前回

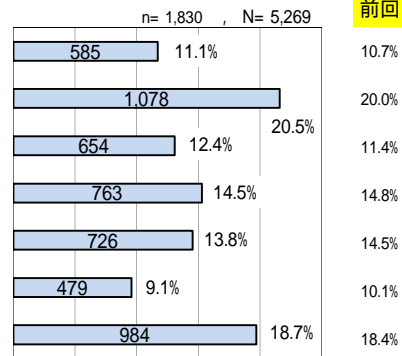
各表の「割合(%)」は回答数累計(N)に占める各項目の回答数の割合、「前回」は前回調査(平成20年3月実施)の結果です。

【2. 安心と活力に満ちた地域社会づくり】

子どもを生き育てやすい環境づくり

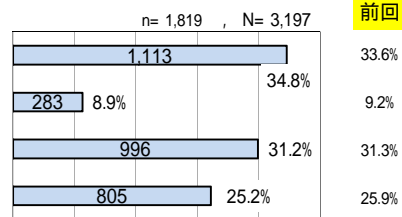
取組 1 3 次代を担う子どもを安心して生き育てることができる環境づくり

- ア 市町村・企業・NPOなどと連携・協働して行う総合的な少子化対策
- イ 育児休業取得の促進や職場復帰しやすい環境づくりなど、職場における仕事と子育ての両立支援対策
- ウ ささまざまな需要に応じた保育サービスの充実
- エ 子育て中の親の交流の場を設けたり、放課後の児童の居場所を作るなど、それぞれの地域に合わせた子育て支援の充実
- オ 不登校や引きこもりなど悩みを抱える子どもや、子育てに不安・問題を抱える親や家族に対する相談・指導の充実
- カ 関係機関が連携した虐待防止体制づくりや、発生予防から早期発見・援助など、素早く的確な対応
- キ 県立こども病院での高度で専門的な医療の提供や、周産期・小児医療体制づくりと小児救急医療体制の充実



取組 1 4 家庭・地域・学校の協働による子どもの健全な育成

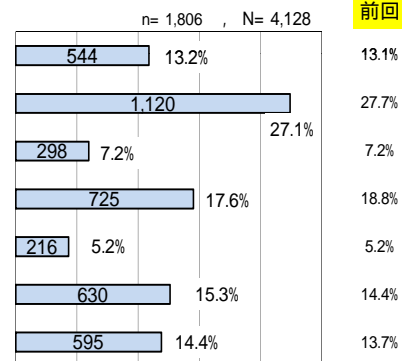
- ア 家庭・地域・学校が協働して行う、子どもの基本的な生活習慣や学習習慣の定着に向けた運動
- イ 学校とNPOなどそれぞれの地域のさまざまな主体が協働して行う教育活動
- ウ 子どもの活動拠点作りや地域で子どもを教え育てるしくみなど、家庭・地域・学校が協働して地域全体で子どもの教育を進めるための組織づくり
- エ 家庭・地域・学校が協働し、多くの住民が進んで参画しながら生み出す、子どものさまざまな学習・体験機会



将来の宮城を担う子どもの教育環境づくり

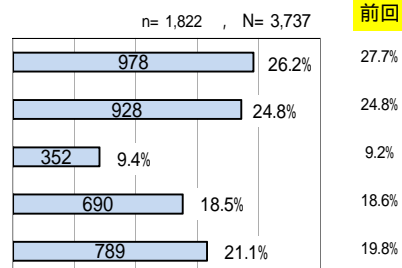
取組 1 5 着実な学力向上と希望する進路の実現

- ア 家庭学習に関する啓発や自習環境の整備など、児童生徒の学習習慣づけの取組
- イ 子どもたちの理解が進むような授業ができるよう、教員の教科指導力を上げたり、小学校・中学校・高等学校が連携を強化する取組
- ウ 学習状況調査などによる子どもたちの学力定着状況の把握・分析・公開
- エ 子どもたちの進路選択能力を育てるための指導体制の充実と、教員が進路指導するための能力・技能の向上
- オ 地域の進学指導等の拠点となる高等学校での取組の充実とその成果の普及
- カ 産業界などと連携して行う、子どもたちの発達段階に応じた、一人一人の勤労観・職業観を育てる教育の充実
- キ 社会の変化に対応した教育（情報通信技術を活用した教育・国際化に対応した教育・環境教育など）



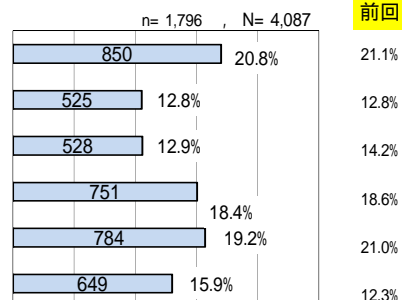
取組 1 6 豊かな心と健やかな体の育成

- ア ささまざまな社会体験や自然体験など、体験活動の充実や学校教育活動全般を通じた心の教育に関する取組
- イ 家庭・地域とが連携して行う、基本的な生活習慣を身につけることの大切さの普及啓発
- ウ みやぎアドベンチャープログラムの活用など、子どもたちの豊かな人間関係づくりのための取組
- エ スクールカウンセラー・相談員などの学校への配置、専門家・関係機関とが連携して行う教育相談体制の充実と不登校児童生徒への支援
- オ 小学校・中学校・高等学校までの体力・運動能力調査の継続的な実施など、子どもの体力・運動能力向上のための取組



取組 1 7 児童生徒や地域のニーズに応じた特色ある教育環境づくり

- ア 少人数学級や少人数指導など、子どもたちの実情に応じたきめ細かな教育活動の充実
- イ 学校の再・改編や入学選抜制度改善などによる、時代の要求や教育環境の変化、生徒の多様化・個性化などに応じた魅力ある高校づくり
- ウ 学校の自主性・主体性を生かした学校運営への支援や学校評価の充実などによる地域から信頼される学校づくり
- エ 障害のある子どもも障害のない子どもも、地域の小・中学校で共に学ぶことのできる学習環境づくり
- オ 優秀な教員の確保と、教員の資質向上・学校活性化のための適切な教員評価や教育研修の充実
- カ 学校の耐震化など、安全で快適な教育施設づくり

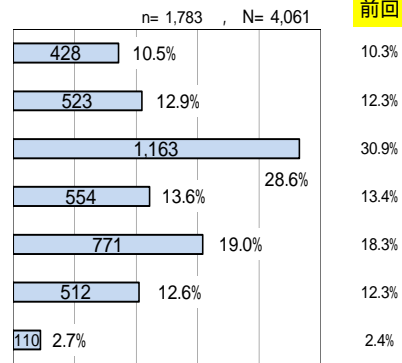


各表の「割合 (%)」は回答数累計(N)に占める各項目の回答数の割合、「前回」は前回調査(平成20年3月実施)の結果です。

生涯現役で安心して暮らせる社会の構築

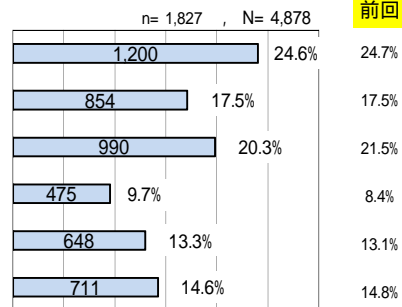
取組 1 8 多様な就業機会や就業環境の創出

- ア 就業形態の変化に応じた、産学官の各種機関が行うさまざまな就業能力開発の機会の提供
- イ 関係機関と連携して行う、非自発的離職者の再挑戦に向けた就業支援
- ウ 働く意欲のある女性や高齢者の、それぞれの経験や能力に応じた就業・雇用環境づくりや能力開発
- エ 相談体制の充実や職業選択機会の提供など、若年者に対する総合的な就業環境づくり
- オ 働く意欲のある障害者等の就職活動を支える能力開発の場の確保や相談・指導体制の充実
- カ 障害者雇用率制度など、障害者も含めた様々な就業環境づくりのための事業者への啓発
- キ 外国人の雇用機会の確保に必要となる指導・助言



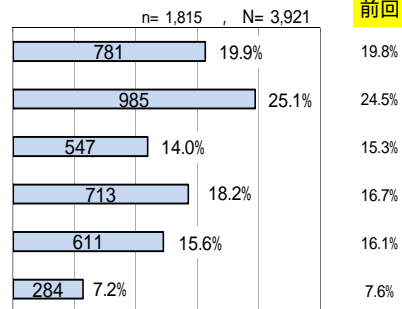
取組 1 9 安心できる地域医療の充実

- ア 全国から県内の自治体病院での勤務を希望する医師を募集・配置するなど、地域医療を充実させるための医師確保
- イ 県内の各地域ごとの拠点となる病院の整備への支援と、各地域の病院、診療所間の連携・機能分担の促進
- ウ 救急医療を担う人材の育成・確保と、救急医療情報システムの活用により各地域内で救急医療を完結できる体制づくり
- エ 総合的なりハビリテーションが提供できる体制づくりと、県リハビリテーション支援センターの充実
- オ より高度で専門的ながん医療提供のため、県立がんセンターなどが診療の拠点となる病院の機能強化や在宅緩和ケアの体制づくりなど、総合的ながん対策
- カ 看護職員の確実な確保とその資質向上のために必要となる養成施設などへの支援



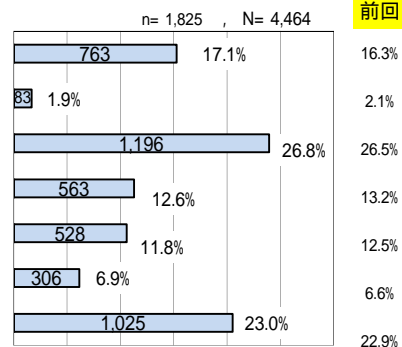
取組 2 0 生涯を豊かに暮らすための健康づくり

- ア 「みやぎ21健康プラン」にもとづく、バランスの取れた食生活・食習慣の実現や運動習慣の普及・定着など、県民の健康づくり
- イ がん予防のための普及啓発、マンモグラフィ検診など効果的で質の高いがん検診の普及
- ウ 地域や学校、家庭、職場などが連携・協力して行う、宮城の特性を生かした総合的な食育
- エ 保健所や衛生研究所、医療機関などが連携した防疫、医療提供、情報提供などの体制づくりと、感染症集団発生に備えた隣県等を含めた広域的な連携体制づくり
- オ 乳幼児期から高齢期まで、一人ひとりの人生の段階に応じた心の健康づくりのための相談、指導体制づくり
- カ 乳幼児に対するフッ化物の活用の推進やそれぞれの年代や地域の実情に応じた歯科保健体制づくり



取組 2 1 高齢者が元気に安心して暮らせる環境づくり

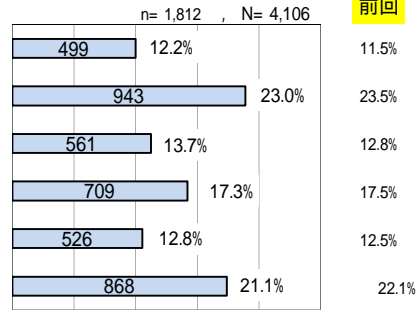
- ア 高齢者の知識や経験を生かした地域活動への参加促進と、地域活動で中心となって活躍する人材の養成・確保
- イ 仙台市との共催で行う「ねんりんピック（全国健康福祉祭）」
- ウ 介護が必要になっても、住み慣れた地域で安心した生活を送るための基盤づくりや地域で共に助け合い支え合うしくみづくり
- エ 専門的知識を持ちながら、介護サービス利用者の立場に立ったサービスを提供できる質の高い人材の養成・確保
- オ 介護予防サービスの提供や、自立した生活を送るための介護予防ケアマネジメント体制づくり
- カ 高齢者などの権利をまもるための体制づくりと県民意識の啓発
- キ 認知症への正しい理解の促進や、かかりつけ医等による認知症の早期発見・早期対応の体制づくりなど、認知症高齢者やその介護家族を支える総合的な支援



各表の「割合 (%)」は回答数累計(N)に占める各項目の回答数の割合、「前回」は前回調査(平成20年3月実施)の結果です。

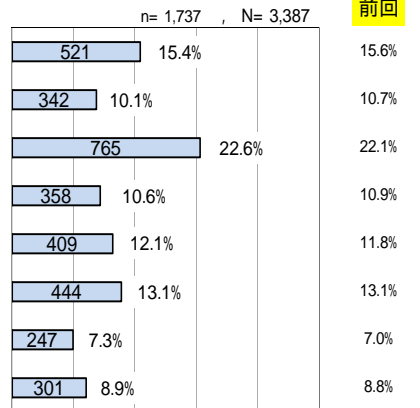
取組 2 2 障害があっても安心して生活できる地域社会の実現

- ア バリアフリー・ユニバーサルデザインの考え方の普及や、それに配慮した施設づくり
- イ 働く意欲のある障害者等の就職活動を支える能力開発の場の確保や相談・指導体制の充実
- ウ 障害者の地域生活を支える相談支援体制づくり
- エ 障害の有無や年齢にとらわれない、利用者の要望に応じた福祉サービスの提供や地域での支え合いへの支援
- オ グループホームなど、身近な地域での住まいや日中活動の場などの生活基盤づくり
- カ 難病患者やその家族に対する日常生活における相談支援体制の整備や地域交流活動の促進など、難病患者が在宅で安心して療養生活を送ることができる環境の整備



取組 2 3 生涯学習社会の確立とスポーツ・文化芸術の振興

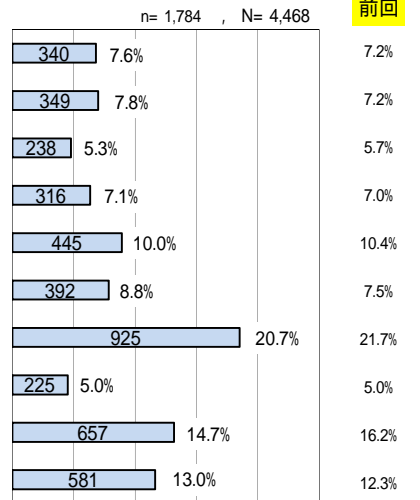
- ア より充実した生涯学習の環境づくりと、学習機関同士の結びつきなどによる県民の自主的な学習活動の支援
- イ みやぎ県民大学の実施など、社会的に求められている学習機会の確保や、地域のさまざまな生涯学習活動を支援する指導者の育成
- ウ 地域に根ざした自主運営型・複合型スポーツクラブの育成・支援など、生涯を通じてスポーツに親しめる環境づくり
- エ 選手強化のための、生徒から学生、社会人までの一貫指導体制づくり、指導者育成対策、競技力向上などの環境の充実
- オ 県民が文化芸術に触れる機会の充実など、文化芸術活動の振興
- カ 地域文化の継承・振興のための取組支援と文化財の保存・活用
- キ 県民の文化芸術活動を生かした地域づくりや交流の推進
- ク 宮城県図書館・美術館・東北歴史博物館等の拠点の充実と、関係機関との組織づくり



コンパクトで機能的なまちづくりと地域生活の充実

取組 2 4 コンパクトで機能的なまちづくりと地域生活の充実

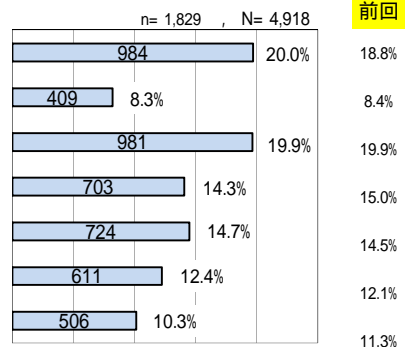
- ア 施設の配置場所、市街地開発など、都市計画の方針を明らかにする都市計画区域マスタープランに基づく良好な市街地づくり
- イ 都市計画を定めることによる適切な土地利用の誘導や公共公益施設の適切な配置
- ウ 鉄道沿線などの市街地整備や既存市街地の再開発
- エ バリアフリー・ユニバーサルデザインの考え方の普及や、それに配慮した施設づくり
- オ 地域住民や公共サービスと連携した地域商業の活性化支援
- カ 豊かな自然環境や独自の伝統文化などを生かした集客交流や産業振興
- キ 全国から県内の自治体病院での勤務を希望する医師を募集・配置するなど、地域医療を充実させるための医師確保
- ク それぞれの地域での教育に関連した取組への支援や生涯学習の促進
- ケ 地域の日常生活を支えるバス路線など、公共交通の維持支援
- コ 住む場所の違いにより、手に入る情報に差が生じないような情報通信の基盤づくり



だれもが安全に、尊重し合いながら暮らせる環境づくり

取組 2 5 安全で安心なまちづくり

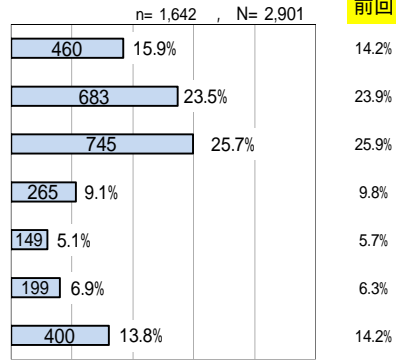
- ア 「犯罪のない安全・安心まちづくり」のために行政、地域、事業者等が連携して行う県民運動
- イ 住民による自主的な防犯活動を活発にするための啓発活動
- ウ 学校、通学路等の安全対策を進めるなど、子どもを犯罪から守るための環境づくりと安全教育の充実
- エ 子どもや女性、高齢者、障害者、外国人など、防犯の面で特に配慮が必要な人々に対する安全対策の充実
- オ 犯罪の起こしにくい、発生しにくい安全な道路、公園、駐車場などの普及
- カ 飲酒運転撲滅に向けた県民運動など、官民が連携して行う交通事故防止対策
- キ 消費者被害を未然に防ぐための情報提供や啓発活動の充実など、消費生活の安全性の確保



各表の「割合 (%)」は回答数累計 (N) に占める各項目の回答数の割合、「前回」は前回調査 (平成 20 年 3 月実施) の結果です。

取組 2 6 外国人も活躍できる地域づくり

- ア 多文化共生を進めるための条例・推進プランづくりや、国際交流協会など関係団体と連携した推進体制づくり
- イ 情報を多言語で発信したり日本語学習を支援するなど、外国人が地域の中でコミュニケーションを取りやすくするための支援
- ウ 保健・医療・福祉，防災，労働環境，教育，居住など，外国人の基本的な生活面への支援
- エ 地域社会への意識啓発や外国人の社会参画など，多文化共生の地域づくりへの支援
- オ イタリア・ローマ県など友好地域との交流など，県民・民間団体が主体となった国際交流の促進・支援
- カ 県内で J E T プログラムや海外技術研修などを経験し，母国へ戻った外国人を通じた，国際化を進めるためのネットワークづくり
- キ 県内大学への留学生をはじめとする，高度な専門知識や技術力を持つ外国人の卒業後の県内企業や研究機関への就業促進

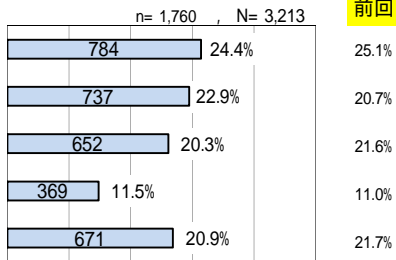


【 3 . 人と自然が調和した美しく安全な県土づくり 】

経済・社会の持続的発展と環境保全の両立

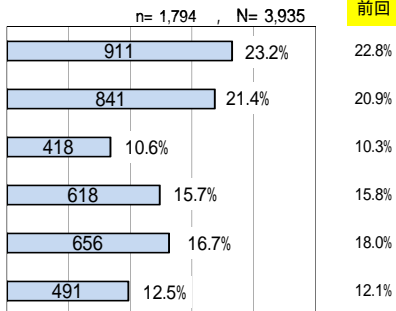
取組 2 7 環境に配慮した社会経済システムの構築と地球環境保全への貢献

- ア 環境に関する情報の発信と，家庭，学校，地域社会や職場などで環境について学ぶ機会の充実
- イ グリーン購入やエコドライブなど，社会で活動するものすべてが，日常的に，当たり前前に環境に配慮して行動できるようにするための普及啓発の促進
- ウ バイオマスエネルギーなど我が県の地域特性を生かした自然エネルギーの地産地消や，県民や事業者が一体となった省エネルギー活動などの地球温暖化対策の推進
- エ 県が事業を行う場合の物品購入や入札で，環境に配慮した活動を行う企業や製品を優遇するなどの率先行動の実施
- オ 環境新技術の開発支援や，自然環境の保全や水源かん養など農林産業の多面的機能に注目した取組支援など，環境に配慮した産業活動の支援



取組 2 8 廃棄物等の 3 R (発生抑制・再利用・再生利用) と適正処理の推進

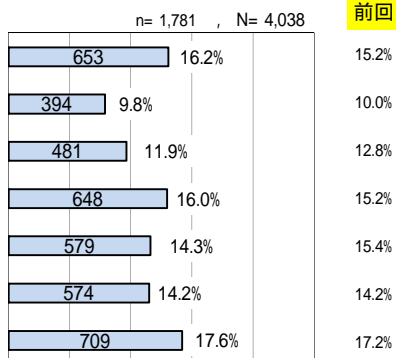
- ア さまざまな場面での 3 R 活動 (ごみを出さない，再利用する，再生利用するなどの取組) を進めるための，県民・事業者・市町村等への啓発活動の充実
- イ 日常生活や事業活動での廃棄物の発生を抑えたり，資源として再利用する取組の促進
- ウ 製品の製造，流通から廃棄までの各段階や，サービスの提供に伴う環境負荷の低減の促進
- エ リサイクル施設の整備など 3 R を支える社会的基盤の充実とリサイクル関連新技術開発の促進
- オ 廃棄物の適正処理を進めるため，廃棄物を出す側の責任意識や県民の理解協力の促進と，不法投棄等不適正処理の根絶に向けた監視指導の強化
- カ 廃棄物処理に関する情報公開を進めることによる透明性の確保と廃棄物処理に必要な施設の維持確保の促進



豊かな自然環境，生活環境の保全

取組 2 9 豊かな自然環境，生活環境の保全

- ア 国定公園やラムサール条約湿地など，宮城の自然環境の保全・再生
- イ 多様な野生生物の保護管理
- ウ 住民と民間団体，事業者，行政などが，自然環境に関する情報を共有できる体制づくり
- エ 豊かな自然環境をまもりながら，自然のもたらすやすらぎと潤いを楽しめるエコ・ツーリズムなど，自然環境の賢明な活用
- オ 身近にあるみどり豊かな空間の保全と，自然環境保全意識の醸成
- カ 上流から下流まで流域全体が協力・連携して行う，各流域の特性を生かした水にまつわる環境の保全
- キ 大気汚染や水質汚濁などの改善に向けた，公害に対する調査研究・技術開発

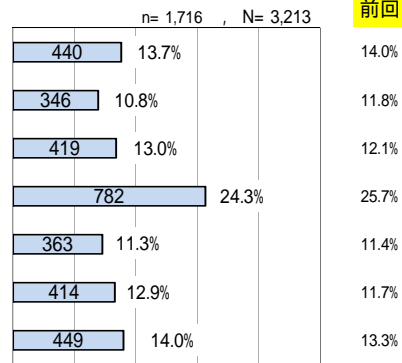


各表の「割合 (%)」は回答数累計 (N) に占める各項目の回答数の割合，「前回」は前回調査 (平成 20 年 3 月実施) の結果です。

住民参画型の社会資本整備や良好な景観の形成

取組 3 0 住民参画型の社会資本整備や良好な景観の形成

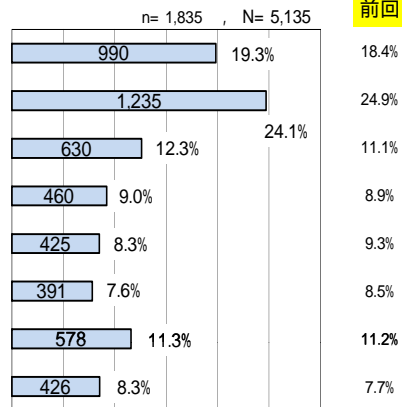
- ア 長期的な視点に立った社会資本の新設・保全・更新のしくみづくり
- イ 社会資本の整備計画づくりや完成後の管理に住民意見を取り入れるための体制づくり
- ウ みやぎスマイルロードプログラムなど、道路や河川清掃などへの住民や企業の参画促進
- エ 地域が協働して行う農地や農業用水などの地域資源の保全活動や、農山漁村のもつ魅力を生かした都市住民との交流や定住の促進
- オ 全県的な景観形成の方向性の提示と市町村の景観形成への支援
- カ 景観に配慮した公共施設づくりと、規制などによる良好な景観づくりへの誘導
- キ みやぎの良好な景観の選定など、良好な景観づくりのための普及啓発



宮城県沖地震など大規模災害による被害を最小限にする県土づくり

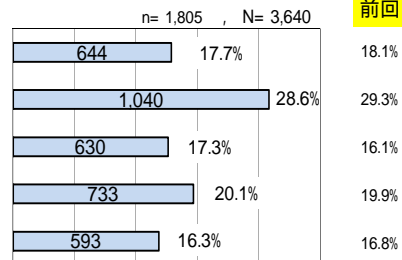
取組 3 1 宮城県沖地震に備えた施設整備や情報ネットワークの充実

- ア 緊急輸送道路に当たる橋、物資輸送のための岸壁、防災拠点施設となる公共建築物の耐震化の促進や防災公園の整備
- イ 電気、ガス、上下水道などの耐震化と、それぞれの管理者との連携強化による震災時の早期復旧体制づくり
- ウ 住宅等の耐震化の促進
- エ 津波被害を防ぐ水門等の施設整備と、市町村や地域と連携した維持管理の充実
- オ 広報・避難誘導態勢の整備や、住民の防災意識の向上を図る津波に備えたまちづくりなどのソフト対策の促進
- カ G P S 波浪計の津波観測や地震計の地震観測など、観測体制の充実
- キ 宮城県総合防災情報システムなどの情報ネットワークの充実
- ク 国、市町村、大学、研究機関が連携して行う地震・津波の調査研究と先端科学技術活用の促進



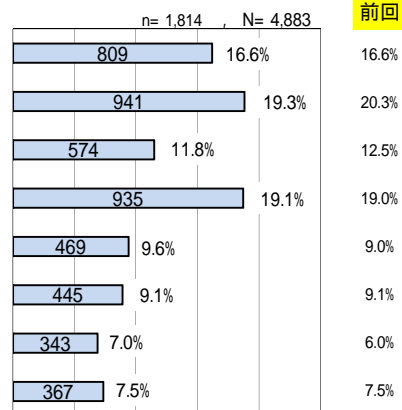
取組 3 2 洪水や土砂災害などの大規模自然災害対策の推進

- ア 宮城県河川流域情報システムなどによる洪水情報提供体制の充実
- イ 洪水被害を防ぐための効果的な河川の整備と堤防・護岸などの維持管理
- ウ 土砂災害を防ぐための砂防ダムなど土砂災害を防止する施設の整備と維持管理
- エ 宮城県砂防総合情報システムなどによる土砂災害情報提供体制の充実と、土砂災害警戒区域の指定などによる市町村と連携した警戒避難体制の整備
- オ 山地災害を防ぎ、水源のかん養、生活環境の保全を図るための治山施設の整備



取組 3 3 地域ぐるみの防災体制の充実

- ア 宮城県総合防災情報システムなど素早い情報伝達のためのネットワークの充実
- イ 高齢者、障害者などの要援護者をはじめとした住民のすみやかな避難体制や避難所運営体制づくりへの支援と、地域間の相互応援体制づくりへの支援
- ウ 災害ボランティアの受け入れや活動がスムーズに行えるための体制づくりへの支援と、民間事業者との協力的体制づくり
- エ 被災後のすみやかな生活安定を支援する体制づくり
- オ 自主防災組織の育成、防災訓練への参加促進、幼年期からの防災教育の充実
- カ 行政や関係機関での、防災に関する深い知識や高い判断能力を持った防災担当職員の育成
- キ 企業や地域において防災活動の中心となる防災リーダーの育成
- ク 企業における B C P (緊急時でも被害を最小限に食い止め、事業を継続・早期復旧できるようにするために定める計画)策定など企業の防災対策への支援



各表の「割合 (%)」は回答数累計(N)に占める各項目の回答数の割合、「前回」は前回調査(平成20年3月実施)の結果です。

2 特定項目(テーマ)調査結果

4つの特定項目(「宮城の食」「宮城の治安」「暮らしと環境」「景観の保全・形成」)について調査した結果は次のとおりです。

()の数值は、各問に占める当該選択肢の(県全体)回答割合。下線の付いた選択肢は各問の回答率第1位のもの。

宮城の食について

問1: 現在、日本の食料自給率はカロリーベースで約40%であり、また、食材別に見た場合、100%国内で自給できているものは米のみとなっています。この現状を考慮して、あなたは、食料自給率を高める必要があると思いますか。

1から5のうち、あてはまる番号を1つ選び をつけてください。

- | | | |
|------------------|-------------------------|----------------|
| 1 高めるべき (68.7%) | 2 どちらかといえば高めるべき (21.1%) | |
| 3 現状維持でよい (6.5%) | 4 現状より低くなくても構わない (0.7%) | 5 わからない (2.9%) |

問2: あなたは、食料自給率を上げていくためには、どのような取組が必要だと思いますか。

1から9のうち、あてはまる番号を2つまで選び をつけてください。

- 1 日本型食生活(お米を中心とし、野菜・肉・魚介類をバランスよく食べる食生活)の実践など、「食育」を推進する (25.1%)
- 2 地元でとれた食材をもっと使用する (23.9%)
- 3 食べ残しや食品廃棄物を減らす(食料の無駄をなくし、過剰な食料輸入を減らす) (11.3%)
- 4 米粉パンやめんなど、米の新たな加工品の開発と利用を増やす (5.5%)
- 5 農業や漁業を盛んにして、生産量を増やす (11.3%)
- 6 輸入に頼っている家畜のエサ(飼料)の国内での生産量を増やす (5.0%)
- 7 何も作付けされていない農地を有効に活用する (16.5%)
- 8 その他 (0.8%)
- 9 わからない (0.6%)



問3: あなたは、「地産地消」という言葉を知っていますか。

1から3のうち、あてはまる番号を1つ選び をつけてください。

- | | | |
|----------------------------|-----------------------|------------------------|
| 1 <u>意味まで知っている (56.7%)</u> | 2 言葉は聞いたことがある (25.9%) | 3 知らない(初めて聞いた) (17.4%) |
|----------------------------|-----------------------|------------------------|

問4: 近年、生産者の顔が見えるという安心感から、地元で生産された食品(食材)への関心が高まっていますが、あなたは、宮城県産の食品(食材)を購入していますか。

1から5のうち、あてはまる番号を1つ選び をつけてください。

- | | | |
|--------------------------|--------------------------|----------------|
| 1 <u>購入している (51.6%)</u> | 2 どちらかといえば購入している (37.4%) | |
| 3 どちらかといえば購入していない (5.0%) | 4 購入していない (1.8%) | 5 わからない (4.2%) |

付問1: 問4で【1】又は【2】を選んだ方にお聞きします。

あなたが、宮城県産の食品(食材)を選ぶ際に、意識するのはどのような点ですか。

1から10のうち、あてはまる番号を2つまで選び をつけてください。

- | | | | |
|-------------------------|---------------------------|---------------------------|------------------------|
| 1 <u>鮮度 (30.1%)</u> | 2 <u>安全性(信頼感) (34.8%)</u> | 3 <u>価格 (10.8%)</u> | 4 <u>旬(季節感) (8.5%)</u> |
| 5 <u>味 (3.3%)</u> | 6 <u>色や形 (0.2%)</u> | 7 <u>地元生産者の応援 (11.9%)</u> | |
| 8 <u>意識していない (0.2%)</u> | 9 <u>その他 (0.1%)</u> | 10 <u>わからない (0.1%)</u> | |

宮城の治安について

問5:あなたは、日常生活を送る上で、治安についてどのように感じていますか。

1から5のうち、あてはまる番号を1つ選び をつけてください。

- | | | |
|----------------------|----------------------|----------------|
| 1 良い (12.5%) | 2 どちらかといえば良い (58.9%) | |
| 3 どちらかといえば悪い (16.9%) | 4 悪い (4.1%) | 5 わからない (7.6%) |

付問1:問5で[1]又は[2]を選んだ方にお聞きします。

あなたが日常生活を送る上で治安が良い(どちらかといえば良い)と感じる理由は何ですか。

1から8のうち、あてはまる番号を2つまで選び をつけてください。

- | | |
|---|----------------|
| 1 以前に比べて事件事故が少なくなってきたと感じるから (9.3%) | |
| 2 自分の身近に事件事故の発生がないから (41.0%) | |
| 3 安全安心に関する地域ボランティア活動が活発になってきたから (11.7%) | |
| 4 個人の規範意識が高まってきたから (14.2%) | |
| 5 警察官によるパトロール活動等が活発になってきたから (9.6%) | |
| 6 地域社会における連携が強化されてきたから (12.1%) | |
| 7 その他 (1.7%) | 8 わからない (0.5%) |



付問2:問5で[3]又は[4]を選んだ方にお聞きします。

あなたが日常生活を送る上で治安が悪い(どちらかといえば悪い)と感じる理由は何ですか。

1から8のうち、あてはまる番号を2つまで選び をつけてください。

- | | |
|--------------------------------------|----------------|
| 1 以前に比べて事件事故が多くなってきたと感じるから (38.1%) | |
| 2 自分の身近で事件事故が発生したから (13.5%) | |
| 3 安全安心に関する地域ボランティア活動が十分ではないから (4.5%) | |
| 4 個人の規範意識が弱まったから (12.6%) | |
| 5 警察官によるパトロール活動等が十分ではないから (11.7%) | |
| 6 地域社会における連携が弱まったから (16.6%) | |
| 7 その他 (2.7%) | 8 わからない (0.3%) |

問6:あなたは、治安を向上させるために、どのような対策が必要だと思いますか。

1から11のうち、あてはまる番号を3つまで選び をつけてください。

- | | |
|-------------------------------|----------------------------|
| 1 空き巣等の侵入犯罪の抑止 (8.9%) | 2 ひったくり等の街頭犯罪の抑止 (5.7%) |
| 3 子ども、女性、高齢者に対する犯罪の抑止 (16.4%) | 4 少年非行の抑止 (11.5%) |
| 5 暴力団、外国人犯罪の取締り (8.8%) | |
| 6 交通事故の抑止対策や飲酒運転の根絶対策 (13.6%) | |
| 7 パトロール等の街頭活動の強化 (13.8%) | 8 家庭や事業者への巡回連絡活動の強化 (5.0%) |
| 9 防犯カメラや街路灯等の防犯環境整備 (15.1%) | |
| 10 その他 (0.7%) | 11 わからない (0.5%) |



暮らしと環境について

問7:あなたは、環境問題に対してどのような考えや意見を持っていますか。

1から8のうち、あてはまる番号をすべて選び をつけてください。

- 1 環境保全に関する活動に積極的に参加したいと思う (23.7%)
- 2 個人の行動がどの程度環境保全に役立つかわからない (22.3%)
- 3 自分の日常生活も環境が悪化している原因の一つだと思う (23.7%)
- 4 環境問題は自分自身に影響があるとは考えにくい (3.3%)
- 5 環境問題の多くは科学技術の発展によって解決できると思う (8.4%)
- 6 環境保全のために産業や技術の発展が妨げられないか心配だ (8.4%)
- 7 1から6のうちあてはまる考えや意見はない (4.0%)
- 8 わからない (6.1%)



問8:環境保全の取組として、あなたが、日常生活の中でいつも行っていることはありますか。

1から15のうち、あてはまる番号をすべて選び をつけてください。

- | | |
|--------------------------------------|------------------------------|
| 1 冷暖房の使用ではエネルギーを節減する (14.7%) | 2 買い物の時にレジ袋をもらわない (12.4%) |
| 3 物は修理して長く使う (13.3%) | 4 地域の組織に参加して集団資源回収を行う (6.2%) |
| 5 余暇には自然と触れ合うように心がける (4.6%) | 6 地域の美化活動に参加する (6.5%) |
| 7 お風呂の残り湯を洗濯や掃除に使う (16.4%) | 8 マイカーよりも公共交通機関を利用する (1.9%) |
| 9 NPOの環境保全活動に参加する (0.6%) | 10 買い物の時に省エネ商品を選ぶ (4.8%) |
| 11 買い物の時に環境にやさしい商品を選ぶ (5.5%) | 12 生ゴミはたい肥化したりする (8.5%) |
| 13 不用品をフリーマーケットなどで再利用やリサイクルする (3.8%) | |
| 14 1から13のうちいつも行っているものはない (0.4%) | 15 わからない (0.4%) |

問9:あなたは、「地球温暖化」が身近な環境問題だと感じていますか。

1から5のうち、あてはまる番号を1つ選び をつけてください。

- | | |
|----------------------------|--------------------------|
| 1 身近な問題だ (58.9%) | 2 どちらかといえば身近な問題だ (32.4%) |
| 3 どちらかといえば身近な問題ではない (3.7%) | 4 身近な問題ではない (1.4%) |
| 5 考えたことがない (3.8%) | |

付問1:あなたは、地球温暖化防止を意識し、また、そのための行動をしていますか。

1から6のうち、あてはまる番号を1つ選び をつけてください。

- | | |
|--------------------------------|-------------------------------|
| 1 意識して積極的に行動している (5.5%) | 2 意識しており、できる範囲で行動している (44.4%) |
| 3 意識はしているが、あまり行動はしていない (35.5%) | |
| 4 意識はしているが、行動はしていない (8.9%) | |
| 5 意識していない (3.2%) | 6 わからない (2.6%) |



問10:あなたが、地球温暖化防止のため、県に最も期待する取組は何ですか。

1から6のうち、あてはまる番号を1つ選び をつけてください。

- 1 広報活動により地球温暖化への意識を高め、自主的な行動を促す (22.9%)
- 2 学校や地域等で、地球温暖化について学ぶ機会を増やす (20.2%)
- 3 省エネ型製品の購入や住宅用太陽光発電機器の設置等に対して補助を行う (35.0%)
- 4 地球温暖化につながるような行動等を規制する (12.0%)
- 5 県に期待する取組はない (2.9%)
- 6 わからない (7.1%)

景観の保全・形成について

問 11: 「良好な景観をまもる」、「良好な景観をつくる」といった取組が行われていますが、あなたは「景観」と言われた場合、その対象としてどのようなものをイメージしますか。
1から6のうち、あてはまる番号をすべて選び をつけてください。

- 1 山並み、海岸、湖沼、里山、田園などの自然風景 (45.3%)
- 2 歴史的な建造物や街並みの風景 (25.0%)
- 3 整備された街並み、住宅地、公園などの風景 (14.9%)
- 4 祭り、伝統芸能、イベントなどの風景 (13.1%)
- 5 その他 (0.3%) 6 わからない (1.5%)



問 12: 県内の景観の状況について、あなたは、どのように感じていますか。
1から6のうち、あてはまる番号を1つ選び をつけてください。

- 1 開発、広告物のはんらんなどにより、県内の景観が損なわれており、全県的な対策が必要だ (19.1%)
- 2 一部に景観が損なわれている地域・箇所があり、部分的には対策が必要だ (43.3%)
- 3 景観が損なわれていると感じてはいるが、対策が必要なほどではない (12.1%)
- 4 景観が損なわれているとは感じていない (11.3%)
- 5 その他 (0.9%) 6 わからない (13.3%)

問 13: 「良好な景観をまもる」、「良好な景観をつくる」ため、県が取り組む必要があり、効果があると思う対策は何ですか。

1から11のうち、あてはまる番号を3つまで選び をつけてください。

- 1 普及活動(チラシの配布、シンポジウム・イベントの開催など) (8.1%)
- 2 景観づくりに取り組んでいる人や団体への表彰 (4.5%)
- 3 優れた景観の選定・紹介 (16.3%)
- 4 景観づくりに取り組んでいる団体や市町村への支援 (19.2%)
- 5 景観アドバイザーなどの紹介・派遣 (2.7%)
- 6 景観に関する教育(小中学校など)への支援 (9.4%)
- 7 歴史的な建造物・樹木などの保全 (20.5%)
- 8 屋外広告物(看板、のぼりなど)の規制 (6.7%)
- 9 土地利用(周囲の景観に影響を及ぼす建築など)の規制 (9.6%)
- 10 その他 (0.4%) 11 わからない (2.5%)



参考資料

1 回答者属性一覧

区 分		実数(人)	構成比(%)
一般県民(全体)		1,944	100.0
性別	男性	894	47.4
	女性	991	52.6
年齢	20歳代	169	9.0
	30歳代	180	9.6
	40歳代	269	14.3
	50歳代	393	20.9
	60～64歳	203	10.8
	65歳以上	664	35.4
居住地(圏域)	仙南圏域	248	13.5
	仙台圏域	249	13.5
	大崎圏域	254	13.8
	栗原圏域	305	16.6
	登米圏域	279	15.2
	石巻圏域	229	12.5
	気仙沼・本吉圏域	274	14.9
職業	自営業・家族従業者	296	16.5
	被用者	685	38.2
	企業役員・団体代表等	32	1.8
	専業主婦(主夫)	266	14.8
	学生	21	1.2
	無職	445	24.8
	その他	48	2.7
業種別	農業	143	14.5
	林業	8	0.8
	水産漁業	48	4.9
	土木・建築業	100	10.1
	製造業	181	18.3
	電気・ガス・水道業	18	1.8
	情報・通信業	8	0.8
	運輸業	32	3.2
	卸・小売業	85	8.6
	金融・保険・不動産業	24	2.4
	飲食・宿泊・その他サービス業	136	13.8
	医療・福祉関連業	84	8.5
	教育・学習関連業	46	4.7
	その他	76	7.7

各属性には不明分があるため、属性ごとの実数の合計と全体の合計とは一致しません。



2 重視度集計表

政策推進の基本方向・課題		宮城の未来をつくる33の取組	重要	やや重要	あまり重要ではない	重要ではない	わからない	計	欠損値
1 富 宮 城 の 実 現 ↳ 県 内 総 生 産 1 0 兆 円 へ の 挑 戦	(1) 育成・誘致による県内製造業の集積促進	取組 1 地域経済を力強くけん引するものづくり産業(製造業)の振興	599	637	235	76	302	1,849	95
		取組 2 産学官の連携による高度技術産業の集積促進	384	636	297	77	448	1,842	102
		取組 3 豊かな農林水産資源と結びつけた食品製造業の振興	793	681	129	40	205	1,848	96
	(2) 観光資源、知的資産を活用した商業・サービス産業の強化	取組 4 高付加価値型サービス産業・情報産業及び地域商業の振興	262	672	308	89	512	1,843	101
		取組 5 地域が潤う、訪れてよしの観光王国みやぎの実現	619	721	202	59	227	1,828	116
	(3) 地域経済を支える農林水産業の競争力強化	取組 6 競争力ある農林水産業への転換	475	716	223	69	350	1,833	111
		取組 7 地産地消や食育を通じた需要の創出と食の安全安心の確保	640	746	144	41	260	1,831	113
	(4) アジアに開かれた広域経済圏の形成	取組 8 県内企業のグローバルビジネスの推進と外資系企業の立地促進	183	527	386	156	576	1,828	116
		取組 9 自立的に発展できる経済システム構築に向けた広域経済圏の形成	323	586	273	104	487	1,773	171
	(5) 産業競争力の強化に向けた条件整備	取組 10 産業活動の基礎となる人材の育成・確保	464	687	186	67	390	1,794	150
		取組 11 経営力の向上と経営基盤の強化	407	622	215	82	477	1,803	141
		取組 12 みやぎの飛躍を支える産業基盤の整備	538	677	185	67	359	1,826	118
2 安 心 と 活 力 に 満 ち た 地 域 社 会 づ く り	(6) 子どもを生み育てやすい環境づくり	取組 13 次代を担う子どもを安心して生み育てることができる環境づくり	1,141	468	65	25	142	1,841	103
		取組 14 家庭・地域・学校の協働による子どもの健全な育成	869	639	136	34	168	1,846	98
	(7) 将来のみやぎを担う子どもの教育環境づくり	取組 15 着実な学力向上と希望する進路の実現	729	641	139	52	267	1,828	116
		取組 16 豊かな心と健やかな体の育成	910	579	95	39	201	1,824	120
		取組 17 児童生徒や地域のニーズに応じた特色ある教育環境づくり	598	727	192	47	232	1,796	148
	(8) 生涯現役で安心して暮らせる社会の構築	取組 18 多様な就業機会や就業環境の創出	545	731	173	36	315	1,800	144
		取組 19 安心できる地域医療の充実	1,135	490	43	8	148	1,824	120
		取組 20 生涯を豊かに暮らすための健康づくり	737	724	137	33	182	1,813	131
		取組 21 高齢者が元気に安心して暮らせる環境づくり	891	637	106	30	175	1,839	105
		取組 22 障害があっても安心して生活できる地域社会の実現	683	758	114	28	233	1,816	128
(9) コンパクトで機能的なまちづくりと地域生活の充実	取組 23 生涯学習社会の確立とスポーツ・文化芸術の振興	253	698	365	104	393	1,813	131	
	取組 24 コンパクトで機能的なまちづくりと地域生活の充実	424	760	226	35	366	1,811	133	
(10) だれもが安全に、尊重し合いながら暮らせる環境づくり	取組 25 安全で安心なまちづくり	658	720	147	38	261	1,824	120	
	取組 26 外国人も活躍できる地域づくり	234	595	381	131	480	1,821	123	
3 人 と 自 然 が 調 和 し た 県 土 づ く り	(11) 経済・社会の持続的発展と環境保全の両立	取組 27 環境に配慮した社会経済システムの構築と地球環境保全への貢献	724	648	147	42	248	1,809	135
		取組 28 廃棄物等の3R(発生抑制・再使用・再生利用)と適正処理の推進	814	672	79	32	214	1,811	133
	(12) 豊かな自然環境、生活環境の保全	取組 29 豊かな自然環境、生活環境の保全	567	753	162	48	270	1,800	144
	(13) 住民参画型の社会資本や良好な景観の形成	取組 30 住民参画型の社会資本整備や良好な景観の形成	347	732	247	59	400	1,785	159
	(14) 宮城県沖地震など大規模災害による被害を最小限にする県土づくり	取組 31 宮城県沖地震に備えた施設整備や情報ネットワークの充実	1,230	448	37	9	109	1,833	111
		取組 32 洪水や土砂災害などの大規模自然災害対策の推進	1,015	563	61	14	186	1,839	105
取組 33 地域ぐるみの防災体制の充実		823	670	90	24	218	1,825	119	

3 満足度集計表

政策推進の基本方向・課題		宮城の未来をつくる33の取組					満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	計	欠損値
1 富 宮 城 の 実 現 ↳ 県 内 総 生 産 1 0 兆 円 へ の 挑 戦	(1) 育成・誘致による県内製造業の集積促進	取組 1 地域経済を力強くけん引するものづくり産業(製造業)の振興	172	617	359	133	538	1,819	125				
		取組 2 産学官の連携による高度技術産業の集積促進	98	538	349	103	731	1,819	125				
		取組 3 豊かな農林水産資源と結びつけた食品製造業の振興	174	740	382	123	409	1,828	116				
	(2) 観光資源、知的資産を活用した商業・サービス産業の強化	取組 4 高付加価値型サービス産業・情報産業及び地域商業の振興	66	458	367	108	816	1,815	129				
		取組 5 地域が潤う、訪れてよしの観光王国みやぎの実現	200	747	344	113	398	1,802	142				
	(3) 地域経済を支える農林水産業の競争力強化	取組 6 競争力ある農林水産業への転換	121	600	368	122	602	1,813	131				
		取組 7 地産地消や食育を通じた需要の創出と食の安全安心の確保	142	678	394	112	480	1,806	138				
	(4) アジアに開かれた広域経済圏の形成	取組 8 県内企業のグローバルビジネスの推進と外資系企業の立地促進	44	358	343	125	931	1,801	143				
		取組 9 自立的に発展できる経済システム構築に向けた広域経済圏の形成	80	473	321	104	770	1,748	196				
	(5) 産業競争力の強化に向けた条件整備	取組 10 産業活動の基礎となる人材の育成・確保	91	469	344	154	706	1,764	180				
		取組 11 経営力の向上と経営基盤の強化	72	401	399	162	750	1,784	160				
		取組 12 みやぎの飛躍を支える産業基盤の整備	138	636	333	131	568	1,806	138				
2 安 心 と 活 力 に 満 ち た 地 域 社 会 づ く り	(6) 子どもを生み育てやすい環境づくり	取組 13 次代を担う子どもを安心して生み育てることができる環境づくり	195	557	443	268	349	1,812	132				
		取組 14 家庭・地域・学校の協働による子どもの健全な育成	179	634	398	123	478	1,812	132				
	(7) 将来のみやぎを担う子どもの教育環境づくり	取組 15 着実な学力向上と希望する進路の実現	133	531	391	168	581	1,804	140				
		取組 16 豊かな心と健やかな体の育成	164	548	389	171	529	1,801	143				
		取組 17 児童生徒や地域のニーズに応じた特色ある教育環境づくり	106	575	382	147	551	1,761	183				
	(8) 生涯現役で安心して暮らせる社会の構築	取組 18 多様な就業機会や就業環境の創出	86	472	367	201	637	1,763	181				
		取組 19 安心できる地域医療の充実	186	454	400	360	394	1,794	150				
		取組 20 生涯を豊かに暮らすための健康づくり	165	631	384	122	490	1,792	152				
		取組 21 高齢者が元気に安心して暮らせる環境づくり	170	528	422	175	515	1,810	134				
		取組 22 障害があっても安心して生活できる地域社会の実現	127	503	363	135	659	1,787	157				
(9) コンパクトで機能的なまちづくりと地域生活の充実	取組 23 生涯学習社会の確立とスポーツ・文化芸術の振興	83	492	307	112	801	1,795	149					
	取組 24 コンパクトで機能的なまちづくりと地域生活の充実	74	474	389	179	683	1,799	145					
	(10) だれもが安全に、尊重し合いながら暮らせる環境づくり	取組 25 安全で安心なまちづくり	131	603	344	128	579	1,785	159				
		取組 26 外国人も活躍できる地域づくり	55	414	278	82	973	1,802	142				
3 人 と 自 然 が 調 和 し た 県 土 づ く り	(11) 経済・社会の持続的発展と環境保全の両立	取組 27 環境に配慮した社会経済システムの構築と地球環境保全への貢献	129	552	365	152	584	1,782	162				
		取組 28 廃棄物等の3R(発生抑制・再利用・再生利用)と適正処理の推進	150	624	390	125	505	1,794	150				
	(12) 豊かな自然環境、生活環境の保全	取組 29 豊かな自然環境、生活環境の保全	124	609	331	90	611	1,765	179				
	(13) 住民参画型の社会資本や良好な景観の形成	取組 30 住民参画型の社会資本整備や良好な景観の形成	67	488	341	90	764	1,750	194				
	(14) 宮城県沖地震など大規模災害による被害を最小限にする県土づくり	取組 31 宮城県沖地震に備えた施設整備や情報ネットワークの充実	241	657	390	154	369	1,811	133				
		取組 32 洪水や土砂災害などの大規模自然災害対策の推進	193	586	362	143	530	1,814	130				
取組 33 地域ぐるみの防災体制の充実		158	598	316	115	609	1,796	148					



富県共創！
活力とやすらぎの邦^{くに}づくり

本資料の内容に関する問合せ先：宮城県企画部行政評価室

電 話 022 - 211 - 2406

電子メール g-hyoka@pref.miyagi.jp

ホームページ <http://www.pref.miyagi.jp/hyoka/>